

文部科学省 令和3年度採択大学の世界展開力強化事業
(アジア高等教育共同体(仮称)形成促進)

国際質保証制度設計業務

(令和3～7年度)

成果報告書

令和8年3月

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構

国際質保証制度設計業務『成果報告書』の刊行によせて

質の保証を伴った学生交流を推進するため、日本、中国、韓国の政府により立ち上げられた「キャンパス・アジア」は、2011年に第1モード（2011～2015年度）が開始され、その後5年間で1モードとして第2モード（2016～2020年度）、第3モード（2021～2025年度）へと発展を重ねてきました。

2024年5月に開催された第9回日中韓サミットでは、2011年度から2023年度までの13年間で約1万5千人の学生が「キャンパス・アジア」に参加したことが示され、さらに2030年度末までに参加学生数を3万人へと倍増させることを目標に、積極的に支援していく方針が確認されました。

日本、中国、韓国の質保証機関である、大学改革支援・学位授与機構（NIAD-QE）、中国教育部教育質評価センター（EQEA）及び韓国大学教育協議会（KCUE）は、国際的な教育における質保証の在り方を共通の課題として認識し、「キャンパス・アジア」構想の立ち上げ当初より、「キャンパス・アジア」プログラムを質保証の側面から支える取組を行ってきました。

「キャンパス・アジア」の第1・第2モードにおいては、教育の質の観点から各プログラムの優良事例を抽出するモニタリングを3度実施し、優良事例を報告書にまとめて国内外に広く発信しました。

2021年度からの第3モードでは、参加対象国が日本、中国、韓国の枠を越えて拡大することを見据え、2019年9月に開催された第7回日中韓大学間交流・連携推進会議において、質保証機関の協力のもとで、共通の質保証基準を作成することが合意されました。これを受けて当機構は、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」における「国際質保証制度設計業務」（令和3年度採択）の補助事業者として、日中韓の3か国を含めたアジア全域で質の保証を伴った大学間交流を活性化させるため、大学間交流プログラムに関する共通の質保証基準の作成等の国際質保証制度設計業務に取り組んでまいりました。

基準の作成にあたっては、「キャンパス・アジア」の拡大と、「キャンパス・アジア」が開始当初から理念として掲げる「質の保証を伴った」交流という2つの軸に貢献するため、アジアにおける学生交流プログラムに望まれる質についての共通認識を図り、大学側の自律的かつ持続的な質保証活動を支えるための共通の参照点として活用される基準となることを目指しました。

基準の作成は2021年に開始し、日本、中国、韓国の質保証機関が連携して、4年にわたり策定作業を進めてまいりました。その過程では、「キャンパス・アジア」参加大学の関係者ならびに日中韓3か国の有識者の皆さまから、アンケートや聞き取り調査、会議での協議等を通じて、専門的・実務的な観点からの知見や経験の共有、ならびに多くのご助言を賜ってまいりました。

完成した共通質保証基準は、アジアにおける学生交流プログラムに共通して求められる質の要素を整理した、4つの「基本原則」と8つの「基準」で構成しています。策定した基準は、ウェブサイトに掲載するとともに、国際会議や当機構主催のシンポジウムでの発表等を通じて国内外に発信してまいりました。本基準が、アジアにおける大学間交流プログラムの自律的・継続的な質保証・向上に活用され、アジア全域で質の保証を伴った大学間交流が活発になされることを心より期待しています。

末筆ながら、共通質保証基準の策定にあたり多大なるご支援とご協力を賜りました「キャンパス・アジア」参加大学関係者の皆さま、ならびに有識者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 機構長 服部 泰直

目次

I. 国際質保証制度設計業務の背景	1
1. 「キャンパス・アジア」構想	1
2. 「キャンパス・アジア」第1～2モード（試行から本格実施）	1
3. 「キャンパス・アジア」第3モード（参加国の拡大）	1
II. 「キャンパス・アジア」構想における「質保証」の関わり	5
1. 質の保証を伴った学生交流 - 「キャンパス・アジア」の理念	5
2. 「キャンパス・アジア」の質保証の取組を支援 ～モニタリングの実施～	5
3. 「キャンパス・アジア」第3モードにおける質保証の取組 ～共通質保証基準の策定～	5
III. 共通質保証基準の策定に向けた取組	7
1. 共通質保証基準とは	7
2. 基準策定に係る体制	7
3. 基準策定の実施手順	7
4. 基準に必要な要素の整理及び参照事例	8
IV. 共通質保証基準	10
1. 共通質保証基準（英文）	10
2. 共通質保証基準（参考和訳）	14
V. 共通質保証基準及び解説資料	18
1. 共通質保証基準解説資料（英文）	18
2. 共通質保証基準解説資料（参考和訳）	27
VI. 成果発信	36
1. 「キャンパス・アジア共通質保証プロジェクト」ウェブサイトを通じた情報発信	36
2. 国際会議等での発表	36
1) INQAAHE 隔年総会 2025 での日中韓共同による成果発表（2025年5月）	36
2) 日仏高等教育研究質保証ワークショップでの成果発表（2025年5月）	36
3. 国際質保証制度設計成果発信シンポジウム（2025年11月）	37
VII. 2025 APQN Quality Award の受賞（2025年11月）	71
参考資料：	72
日本、中国、韓国の協力有識者一覧	72

I. 国際質保証制度設計業務の背景

1. 「キャンパス・アジア」構想

「キャンパス・アジア (CAMPUS Asia*)」は、質の保証を伴った学生交流を推進するため、日本、中国、韓国の政府により立ち上げられた構想です。(*Collective Action for Mobility Program of University Students in Asia の略)

2009年の第2回日中韓サミットにおいて、3か国間で質の高い大学間交流を行うことが提言され、2010年4月に日中韓の3か国の政府、大学、産業界関係者による「日中韓大学間交流・連携推進会議」が発足し、3か国による「キャンパス・アジア」の取組が始まりました。

この構想では、大学間交流の推進を通してグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指すとともに、プログラムやカリキュラムの質の保証にも重点が置かれています。そのため、交流プログラムに対しては質の保証を伴った大学間交流の枠組み形成を図ることを求めました。また質保証の具体的な取組を支援するため、日中韓各国の質保証機関が構想の発足当初から参画しました。

2. 「キャンパス・アジア」第1～2モード (試行から本格実施)

「キャンパス・アジア」のプログラムは、日中韓の3つ以上の大学が協働で立ち上げたコンソーシアムが実施する国際共同教育プログラムです。分野を問わず、学部では1セメスター以上の交流、大学院ではダブル・ディグリーを伴うプログラムの実施が推奨され、派遣・受入の双方向の交流を促進する学生交流を基本的な枠組みとしています。

「キャンパス・アジア」は5年間で1モードとし、モードごとに日中韓政府の共同採択により参加するプログラムが決定します。2011～2016年の第1モードは試行期間として10件のパイロットプログラムが実施されました。その実績を基盤として、2016～2021年の第2モードでは本格実施段階として、17件のプログラム(第1モードからの継続8件、第2モードからの新規9件)が実施されました。

なお、日本の参加大学は、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」において採択されています。

3. 「キャンパス・アジア」第3モード (参加国の拡大)

2021年から2025年までの第3モードでは、大学・学生間交流のさらなる発展と拡大に向けて、参加対象国が日中韓3か国の枠を越えて展開されています。具体的には、ASEAN諸国の大学が新たに加わり、2021年11月に20件のプログラム(うち新規7件)が始動しました(日本側は「2021年度大学の世界展開力強化事業(アジア高等教育共同体(仮称)形成促進)」において採択)。プログラムでは、学部レベルでは3か月以上の交流、大学院レベルではダブル・ディグリーまたはジョイント・ディグリーを実施することが推奨されています。さらに、多様なメディアを活用した教育やインターンシップ、教育プログラム以外の課外活動を推奨している点も第3モードの特徴です。



表：「キャンパス・アジア (CA)」第3モード採択大学一覧

日本、中国、韓国、インドネシア、ラオス、マレーシア、シンガポール、タイの大学がプログラムに参加しています。(計20件)

■ 継続プログラム：13件

申請大学名 (代表申請大学)	事業名	相手大学等名
千葉大学 芝浦工業大学	ソーシャル・デザイン・イニシアティブ	1. 浙江大学 (中国) 2. 延世大学校 (韓国) 3. マヒドン大学 (タイ) 4. キングモンクット工科大学トンブリ校 (タイ) 5. マレーシア工科大学 (マレーシア)
東京大学	アジアの国際関係・公共政策：DD、交換留学、オンライン教育のためのBESETO +NUS 共同教育基盤形成	1. 北京大学 (中国) 2. ソウル大学校 (韓国) 3. シンガポール国立大学 (シンガポール)
東京藝術大学	日中韓+ASEANの文化・経済圏発展に向けた、アニメーション教育・研究のための共創プラットフォーム構築	1. 中国伝媒大学 (中国) 2. 韓国芸術総合学校 (韓国) 3. シラパコーン大学 (タイ)
東京工業大学	日中韓新先進科学技術4大学 (T ² KN) 共同教育プログラム	1. 清華大学 (中国) 2. 韓国科学技術院 (韓国) 3. 南洋理工大学 (シンガポール)
東京海洋大学	持続可能な海洋開発・利用を実現する高度専門職業人養成プログラムーオケアヌスプラスー	1. 上海海洋大学 (中国) 2. 韓国海洋大学校 (韓国) 3. チュラロンコン大学 (タイ) 4. カセサート大学 (タイ) 5. マラヤ大学 (マレーシア) 6. ボゴール農科大学 (インドネシア)
名古屋大学	東アジア共通法の深化と世界への発信にむけた法的・政策的プラットフォームを支える人材育成	1. 中国人民大学 (中国) 2. 清華大学 (中国) 3. 上海交通大学 (中国) 4. 成均館大学校 (韓国)

		<ul style="list-style-type: none"> 5. ソウル大学校（韓国） 6. シンガポール国立大学（シンガポール）
大阪大学	グローバル社会における健康問題解決を担う医学・公衆衛生学研究リーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> 1. 北京大学（中国） 2. 清華大学（中国） 3. 上海交通大学（中国） 4. 天津中医薬大学（中国） 5. 広東薬科大学（中国） 6. 延世大学校（韓国） 7. マヒドン大学（タイ）
神戸大学	異分野共創によるリスク・マネジメント専門家養成共同教育プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 1. 復旦大学（中国） 2. 高麗大学校（韓国） 3. チュラロンコン大学（タイ） 4. ラオス国立大学（ラオス）
九州大学	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム -プログラムのパッケージ化とASEAN への展開-	<ul style="list-style-type: none"> 1. 上海交通大学（中国） 2. 釜山大学校（韓国） 3. マレーシア工科大学（マレーシア）
九州大学	アジアのゼロ・エミッション持続循環型環境都市を牽引する人材育成・協働教育プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 1. 同済大学（中国） 2. 釜山大学校（韓国） 3. シンガポール国立大学（シンガポール）
長崎大学	アジアの大学間連携による持続的社會基盤整備を支えるグローバル人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 1. 山東大学（中国） 2. 成均館大学校（韓国） 3. 南洋理工大学（シンガポール） 4. ラオス国立大学（ラオス）
早稲田大学	文明間対話促進のための文化的知性を備えたソーシャルイノベーター共同育成プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 1. 北京大学（中国） 2. 高麗大学校（韓国） 3. 南洋理工大学（シンガポール）
立命館大学 立命館アジア太平洋大学	東アジアグローバルリーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> 1. 東西大学校（韓国） 2. 広東外語外貿大学（中国）

■ 新規プログラム：7件

東北大学	アジア型デンティストリーコンソーシアムによるマルチモーダルなグローバルリーダー育成	1. 北京大学（中国） 2. 四川大学（中国） 3. ソウル大学校（韓国） 4. 延世大学校（韓国） 5. チュラロンコン大学（タイ） 6. インドネシア大学（インドネシア）
筑波大学	地球規模課題解決に資する教育政策マネジメント専門人材育成プログラム	1. 華東師範大学（中国） 2. 韓国教員大学校（韓国） 3. コンケン大学（タイ） 4. マレーシア工科大学（マレーシア） 5. バンドン工科大学（インドネシア）
山梨大学	A ³ I：アジア実問題解決駆動 AI 教育プログラム	1. 杭州電子科技大学（中国） 2. 釜慶大学校（韓国） 3. マレーシア・ペルリス大学（マレーシア）
名古屋大学	アジア諸国における炭素ゼロナイゼーションのための人材育成	1. 上海交通大学（中国） 2. 韓国海洋大学校（韓国） 3. チュラロンコン大学（タイ）
広島大学	インクルーシブ・マインドを醸成するアジア地域国際協働人材育成	1. 北京師範大学（中国） 2. 長春大学（中国） 3. 韓国外国語大学校（韓国） 4. インドネシア教育大学（インドネシア） 5. カセサート大学（タイ）
長崎大学	持続可能なアジアの水産と海洋環境を実現する国際協働人材養成プログラム	1. 中国海洋大学（中国） 2. 釜慶大学校（韓国） 3. マレーシア・トレンガヌ大学（マレーシア）
立教大学	リベラルアーツの高度化に向けたアジア4大学共同体—国際共同副専攻によるグローバルリーダー育成	1. ソウル大学校（韓国） 2. 北京大学（中国） 3. シンガポール国立大学（シンガポール）

出典：[大学の世界展開力強化事業選定事業一覧（2021年度アジア高等教育共同体（仮称）形成促進）](#)

II. 「キャンパス・アジア」構想における「質保証」の関わり

1. 質の保証を伴った学生交流 - 「キャンパス・アジア」の理念

アジアにおいて国際的な学生の交流規模が拡大する中で、国際通用性を備えた質の高い教育を実現するためには、大学、政府、質保証機関などの関係機関が「質」に関するそれぞれの役割を遂行しながら、大学・学生間交流プログラムを展開することが不可欠です。

プログラムの質を保証する取組は「キャンパス・アジア」構想を支える活動であり、本構想の立ち上げ当初から様々なアプローチが試みられてきました。

日中韓の3か国の政府、大学、産業界関係者による「日中韓大学間交流・連携推進会議」は、大学間交流を促進するための3か国間のガイドライン"Guidelines for Exchange and Cooperation among Universities in China, Japan and Korea with Quality Assurance"（日中韓の質の保証を伴った大学交流に関するガイドライン）を2010年に策定しました。政府、大学、質保証機関など関連するステークホルダーがそれぞれの責任を実行し、大学・学生間交流プログラムの実施および授与される単位・学位の質を保証するために共に努力することが求められています。

日中韓3か国の質保証機関は、このガイドラインの理念に沿って、構想の立ち上げ当初から日中韓の大学コンソーシアムの質保証の支援に取り組んできました。

2. 「キャンパス・アジア」の質保証の取組を支援 ～モニタリングの実施～

日本、中国、韓国の3か国の質保証機関（日本：大学評価・学位授与機構（当時）、中国：中国教育部高等教育教学評価センター（当時）、韓国：韓国大学教育協議会）は、国際的な教育における質保証の在り方を共通の課題と認識し、2010年3月にこれらの3機関による「日中韓質保証機関協議会」が発足しました。本協議会では、国際共同教育プログラムの質の保証・向上を促進するため、「キャンパス・アジア」プログラムを質保証の側面から支える3か国共同の取組として、モニタリングを実施してきました。モニタリングは、教育の質の観点から各プログラムにおける優良事例を抽出する取組であり、優良事例を報告書にまとめ国内外に広く発信しています。

関連刊行物はこちらの URL よりご覧いただけます。

https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/intl_engagement/qacampusasia/publications/

3. 「キャンパス・アジア」第3モードにおける質保証の取組 ～共通質保証基準の策定～

「キャンパス・アジア」を日中韓3か国の枠を越えて発展・拡大させ、さらなる学生のモビリティ向上と調和のとれた大学・学生間交流を推進する上で、質保証の役割はさらに重要性を増してきます。

とりわけ、多様な高等教育制度を持つアジア各国の国・地域を超えたプログラムの質を保証するためには、各々の制度の相違を踏まえながら、国際的な大学・学生間交流プログラムとして備えておくべき質とは何かについての共通理解を深めることが重要です。また、プログラムを実施する大学自身が自律的かつ持続的に質保証に取り組めるような枠組みの形成が望まれます。

そこで、「キャンパス・アジア」モニタリングに引き続き、日中韓3か国の質保証機関など関係機関が

連携し、アジア諸国の大学コンソーシアムの持続的な質保証の取組を支援する枠組みとして、共通質保証基準の策定に取り組みました。

Ⅲ. 共通質保証基準の策定に向けた取組

1. 共通質保証基準とは

共通質保証基準とはアジア全域で質の保証を伴った大学間交流を活発化させるうえで、プログラムにどのような質が望まれるか、また、その質をどのように維持し、さらに高めていくかについて示した、プログラムに関係する人々の共通の参照点となることを意図した基準です。特に、交流を図る大学同士が互いの教育環境・体制を十分に理解し、相互に協力し補い合いながら自律的かつ持続的に質を高めていくための取組を支援することを目的としています。

2. 基準策定に係る体制

2019年開催の第7回日中韓大学間交流・連携推進会議での合意に基づき、当機構、中国教育部教育質評価センター（EQEA）、韓国大学教育協議会（KCUE）の3機関は、共同で共通質保証基準の策定に取り組みました。また、「キャンパス・アジア」第3モードにおいては、ASEAN諸国の大学が新たに参加したことに伴い、ASEAN諸国の質保証機関等からの協力も得ています。

3. 基準策定の実施手順

基準策定に向けた実施手順は、3つのフェーズで構成しています。

フェーズ1（2021～2023年）：基準（案）作成

- 国際的な共同教育プログラムの質保証に関するアジアや他地域の先行事例の調査を行いました。これには「キャンパス・アジア」第1～2モードで日中韓の質保証機関が共同で実施したモニタリングの結果が含まれます。

フェーズ2（2023～2025年）：アンケート調査・聞き取り調査

- 「キャンパス・アジア」第3モード採択大学コンソーシアムを対象に「共通質保証基準（素案）に関するオンラインアンケート調査」を実施しました。全20件から回答が得られ（回収率100%）、基準（案）に対する好意的な意見や具体的な追加の提案等、100件近い意見が寄せられました。
- さらに、20件中4件の採択プログラム関係者の協力を得て、「共通質保証基準（案）に基づく聞き取り調査」をオンラインで実施しました。調査には日中韓各国の有識者が参加し、ASEAN関係各国の質保証機関もオブザーバーとして参加しました。基準（案）に沿って大学コンソーシアムの取組を聴取することで、基準の妥当性について実証的に検討することができました。

フェーズ3（2025年）：基準の確定と成果発信

- 聞き取り調査等の結果を踏まえて、2025年4月に基準を確定しました。確定した基準を国内外に広く発信するため、2025年5月には2件の国際会議で、同年11月には当機構主催の国際シンポジウムで成果発表を行いました。

4. 基準に必要な要素の整理及び参照事例

■ 必要な要素

共通質保証基準（案）の検討に先立ち、基準には次のような要素が不可欠であると整理しました。

● 多様性の考慮

アジアでは、各国の多様性に加え、ダブル・ディグリーやジョイント・ディグリー等の学位プログラム、学期単位の交換留学、短期集中プログラム等さまざまな交流形態のプログラムが展開されていることから、多様性を前提とした基準が求められる。

● 柔軟性の促進

パンデミックや社会情勢の変化等による不確実性の高い時代でも学生の学びの継続性を担保するための、適切な教育方法、支援体制等の整備を促す基準が望まれる。

● 持続的な質保証支援

質保証の基本原則を踏まえ、大学コンソーシアムが自ら実施している質保証の取組（内部質保証メカニズム）について、基準を通じて一層の構築・機能促進を図り、プログラムの自律的・持続的な質保証・向上の取組を支援することが望まれる。

このような要素を取り込んだ基準の策定に向けて、大学・学生間交流プログラムの海外事例や留意すべき質をまとめたガイドライン・参照文書等の収集・整理を行いました。特に、すでに政府レベルで合意形成されているガイドラインを参照しながら、基準に求められる観点を丁寧に検討し、基準の道筋を定めました。そのうえで、中国、韓国及びASEAN各国の質保証機関をはじめとした関係機関との協議や連携を図りながら、基準策定に取り組みました。

■ 主要な参照事例

● **Guidelines for Exchange and Cooperation among Universities in China, Japan and Korea with Quality Assurance**（日中韓の質の保証を伴った大学間交流に関するガイドライン）

2010年の第2回日中韓大学間交流・連携推進会議（北京）での議論に基づき合意されたガイドライン。日中韓3か国の大学間における質の保証を伴った交流・連携の推進に向けて、政府、大学、質保証機関等それぞれに期待される取組をまとめている。

● **ASEAN Plus Three Guidelines on Student Exchanges and Mobility**（ASEAN+3 学生交流及び流動性に関するガイドライン）

2016年の第3回ASEAN+3教育大臣会合（マレーシア）にて採択されたガイドライン。域内の国際学生交流プログラムが含むべき要素や、学生に対して伝達すべき情報をはじめ、プログラム構築や実施において参考とすべき指針を提示している。

● **Joint Guidelines for Monitoring International Cooperative Academic Programs in CAMPUS Asia (Second Edition)**（「キャンパス・アジア」国際共同教育プログラムのモニタリングのための共同ガイドライン）

機構が中国及び韓国の質保証機関と共同で2020年に策定したガイドライン。日中韓の大学コンソーシアムが展開する教育プログラムの状況を把握し、その質の向上に寄与するモニタリングを

行う上でみるべき観点が基準の形で整理されている。

■ その他の参照事例

ASEAN を中心に SEAMEO-RIHED（東南アジア教育大臣機構高等教育開発地域センター）が推進する学生交流プログラムである AIMS プログラム、さらに欧州における教育・訓練・青少年交流等を支援するための欧州委員会による助成金プログラムであるエラスムス+（プラス）の事例収集も行いました。

加えて、2021 年度大学の世界展開力強化事業の審査要項の評価事項についても、基準の観点の参考としました。

- [The AIMS Programme Operational Handbook \(Second Edition\)](#)
(AIMS プログラムハンドブック)
- [Erasmus Charter for Higher Education 2021-2027 Guidelines](#)
(高等教育のためのエラスムス憲章 2021～2027 年ガイドライン)
- 2021 年度大学の世界展開力強化事業審査要項

IV. 共通質保証基準

確定した共通質保証基準の全文を以下に掲載します。

1. 共通質保証基準 (英文)

Common Quality Assurance Standards

– Enhancing Quality Collaboration for Inter-University Exchanges in Asia –

A. Fundamental Principles

The inter-governmental scheme by China, Korea, and Japan has been successfully promoting inter-university exchanges with quality assurance since 2011. In expanding this scheme throughout Asia, the Higher Education Institution (hereafter HEI) endorses the following fundamental principles and undertakes to implement them accordingly:

- The HEI undertakes to further enhance the international competitiveness of Asian universities and promote educational and academic exchanges that will serve as the foundation for mutual understanding and long-term harmonious relations within the region. Additionally, in line with the scheme, which aims to create a higher education community based on an international network of universities in Asian countries aspiring toward the peaceful development of Asia, the HEI, together with partner institutions, contributes to the realization of these objectives as a member of this framework.
- The HEI guarantees to provide programs under the scheme to enhance quality higher education in Asia by responding flexibly to societal changes, while complying with the relevant laws and regulations of each higher education system, and establishing appropriate structures and various types of support to ensure the continuity of students' learning.
- The HEI offers essential information regarding the available programs for students, who are considered as primary stakeholders, to make informed choices. It provides education in accordance with the students' interests and concerns, following student-centered principles and ensuring academic rigor.
- The HEI respects in full the principles of equality, equity, inclusiveness, diversity, and openness to the society.

B. Standards

The HEI undertakes to ensure maintaining and continuing to implement these standards as a participating HEI in international collaborative academic programs in Asia.

1. Establishment and Sharing of Objectives	
1.1	The HEI, with partner institutions, clearly defines the objectives of the program, the personality to be cultivated, and the expected learning outcomes in terms of students' knowledge, skills, and attitudes, and shares them among stakeholders. The HEI also considers the expected social impact of its programs upon setting objectives.
2. Implementation Structure	
2.1	The HEI has made an agreement among partner institutions in which the basic policies of the program, such as the program management system, responsibilities toward students, and expense sharing, are documented.
2.2	The HEI clearly states the operational structure of program implementation and relevant responsibilities as well as the support system provided by related organizations within the institution.
2.3	The HEI has established an educational management system in which faculty and staff members involved collaborate and implement the program effectively and sustainably.
2.4	The HEI appropriately establishes a program-coordinating function and maintains mechanisms for regular communication and coordination among partner institutions.
3. Curriculum	
3.1	The HEI cooperates and collaborates with partner institutions to design a curriculum, including project advisory plans aligned with the program's objectives and expected learning outcomes.
3.2	The HEI ensures to provide its curricula based on the cooperation among faculty members of partner institutions. The HEI is prepared to utilize various teaching methods effectively, encompassing online and hybrid, in addition to face-to-face education.
3.3	The HEI provides detailed information on curricula and subjects such as course descriptions, language of instruction, lecture style, credits, student workload, expected learning outcomes, and grading methods. This information is included in the syllabus or other supplemental documents, while making the latest information available to students.

4. Student Acceptance	
4.1	The HEIs jointly establish and implement policies for letting students join the program according to its objectives, with envisaged learning outcomes that students will obtain taken into consideration. The HEIs also endeavor to assure a balanced student mobility among partner institutions.
4.2	The HEI has clearly set up a process to let students join the program (including eligibility for application and recognition of qualifications) while paying attention to equity and transparency with the provision of accurate information for students' decision-making.
5. Student Support for Learning and Living	
5.1	The HEI agrees among partner institutions on the necessary learning and living support for students, based on the objectives and characteristics of the program. In addition, the HEI disseminates details of each area of support in an explicit manner to both prospective and current students.
5.2	The HEI adequately provides the agreed learning support to students. Examples of learning support include an academic advising system such as the placement of teaching assistants, course guidance, language learning support, and sufficient research and learning environments through libraries, information technology, and laboratory facilities.
5.3	The HEI adequately provides the agreed living support for students. Examples of students' living support include financial support, accommodation support, medical support, orientations, counseling, interaction with local communities, and risk management.
5.4	The HEI encourages interactions among students and alumni within and outside the program.
6. Learning Outcomes	
6.1	The HEI has appropriately established methods for measuring the learning outcomes as defined in 1.1 and shared the results of the measurements in a timely manner among partner institutions.

7. Credit Transfer and Degree Awarding	
7.1	The HEI promotes mutual understanding of the credit system of each institution and has made agreements on credit transfer and recognition.
7.2	The HEIs have a collective understanding of each grading method and standard.
7.3	The HEI provides information, without any delay, to students and their home institutions on their academic records, such as credits and grades, in a transparent and explicit manner. The HEI properly manages the academic records of students based on mutual agreement among partner institutions.
7.4	In the case of degree-seeking programs, the HEI has established an appropriate review system, processes, and standards according to the types of degrees awarded. Particularly for joint degree and double degree programs, the HEIs have jointly arranged and properly managed the standards and assessment system based on mutual agreement according to the objectives of the program.
8. Continuous Quality Improvement	
8.1	The HEI has developed an effective and continuous internal quality assurance system including the appointment of responsible bodies for implementation to promote the quality improvement of the program.
8.2	The HEI has established a mechanism that contributes to the improvement of educational management based on the information on students' learning outcomes obtained by the method described in 6.1.
8.3	The HEI has developed procedures for internal quality assurance to identify issues through regular meetings among partner institutions and feedback from students and other stakeholders, and consider measures for the improvement of program management.
8.4	The internal quality assurance system and procedures for the program jointly developed by the HEIs are functioning effectively.
8.5	The HEIs jointly plan to consider various measures, including financial schemes and the availability of adequate human resources, to ensure sustainable operation of the program.

[NOTE] These Standards will be reviewed and revised as necessary every three to five years in response to the changing environment of higher education and inter-university student exchange.

2. 共通質保証基準（参考和訳）

共通質保証基準（参考和訳）

—アジアにおける大学間交流の質の高い連携促進に向けて—

A. 基本原則

中国、韓国、日本の政府間枠組みは、2011年以来、質保証を伴う大学間交流を推進し、成功を収めてきた。この枠組みをアジア全域に拡大するにあたり、参加大学は以下の基本原則を支持するとともに適切に履行することを約束する：

- ・ 参加大学は、アジアの大学の国際競争力を高め、域内の相互理解や将来にわたる友好関係の基盤となる教育学術交流を促進するとともに、アジアの平和的発展を視野に入れたアジア諸国における大学間国際ネットワークを背景とした高等教育共同体の形成を目指す枠組みの理念に沿って、連携大学と協働して本枠組みの一員として実現に向けて貢献する。
- ・ 参加大学は、アジアにおける質の高い高等教育を推進する枠組みの理念のもと、各高等教育システムの関連法令に従いつつ、社会の変化に柔軟に対応し、学生の学びの継続性を担保するために適切な体制と各種の支援策を整備したうえで、プログラムを提供することを保証する。
- ・ 参加大学は、主たるステークホルダーである学生の選択に必要なプログラムに関する情報を提供するとともに、学生中心の原則に従い、学術の厳正性を確保しつつ、学生の利益と関心に沿った教育を提供する。
- ・ 参加大学は、平等性、公平性、包摂性、多様性及び社会への開放性の原則に最大限配慮する。

B. 基準

参加大学は、アジアにおける国際的な大学間交流プログラムの一員として活動するにあたり、これらの基準を維持し、継続的に満たすよう努める。

1. 目的設定と共有	
1.1	参加大学は、プログラムの目的や育成する人物像、知識・スキル・態度等の期待される学習成果を明確に定め、ステークホルダー間で共有している。また、参加大学は、目的設定の際に期待される社会的影響（インパクト）についても考慮に入れている。
2. 実施体制	
2.1	参加大学間でプログラムの運営体制や学生に対する責任、経費の分担等のプログラムの基本的方針を協定等により書面化している。
2.2	参加大学は、プログラムの実施・責任体制及び学内関係組織による支援体制を明確にしている。
2.3	参加大学は、プログラムの関係教職員が相互に協働し、プログラムを効果的かつ持続的に実施するための教学の体制を整備している。
2.4	参加大学は、プログラムの調整機能を適切に構築し、参加大学間の定期的な連絡調整の仕組みを整備している。
3. カリキュラム	
3.1	参加大学は、協働でプログラムの目的及び期待される学習成果を踏まえて、指導計画を含む適切なカリキュラムを構成している。
3.2	参加大学間の教員の協働に基づき、参加大学はカリキュラムを確実に提供している。その際に、対面型に加えオンライン型やオンラインと対面を組み合わせたハイブリッド型を含む多様な教授方法を効果的に用いる準備ができています。
3.3	参加大学は、授業内容、指導言語、講義方式、単位数、学生の学習量、期待される学習成果、成績評価方法等のカリキュラムや科目に関する詳細な情報を提供している。この情報は、シラバスやその他の補足資料に含まれており、学生が最新の情報を入手できる状態にしている。

4. 学生の受入・派遣	
4.1	参加大学は、プログラムの目的や学生が修得するであろう学習成果を考慮した上で学生受入・派遣の方針を協働で策定・運用しており、参加大学間でバランスのとれた学生の流動性を確保するよう努めている。
4.2	参加大学は、学生受入・派遣のプロセス（プログラムへの申請資格及び資格の承認を含む）を公平性・透明性に留意しつつ明確に定めており、学生の意思決定のための正確な情報を提供している。
5. 学習・生活支援	
5.1	参加大学は、プログラムの目的・内容を踏まえて、参加大学間で必要な学習支援策及び生活支援策について合意している。また、プログラム参加希望者及び参加者に対して各支援の内容を理解しやすい形で周知している。
5.2	参加大学は、合意した学習支援策を学生に対して適切に提供している。学習支援の例として、TAの配置を含む参加学生に対する指導体制の構築、履修ガイダンスや語学学習の提供、図書館・IT・実験施設等の十分な研究・学習環境の整備が挙げられる。
5.3	参加大学は、合意した生活支援策を学生に対して適切に提供している。生活支援の例として、経済的支援、住居支援、医療支援、オリエンテーションの実施、カウンセリング、地域とのつながりの支援、リスク管理が挙げられる。
5.4	参加大学は、プログラム内外の学生・修了者の交流を支援している。
6. 学習成果	
6.1	参加大学は、1.1で定めた学習成果の測定方法を適切に設定し、測定結果を参加大学間で適時に共有している。

7. 単位互換・学位の授与	
7.1	参加大学間で各大学の単位制度について相互理解が図られ、単位互換や単位認定の取り決めに交わしている。
7.2	参加大学間で各大学の成績評価方法と基準を理解している。
7.3	参加大学は、学生が修得した単位・成績等の学習歴情報を透明性があり理解しやすい形で学生本人や相手大学に遅滞なく提供している。また、参加大学は参加大学間の合意に基づき、適切に学生の学業成績証明書等を管理している。
7.4	学位授与を伴うプログラムの場合、参加大学は、授与する学位の種類に応じた審査の体制、プロセス及び基準を適切に設定している。特にジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリープログラムにおいては、参加大学間の合意に基づき、基準や審査の体制をプログラムの目的に応じて協働で整備し、適切に運営している。
8. 継続的な質の向上	
8.1	参加大学は、責任を持つ実施主体を定めることを含め、プログラムの質向上の取組を主導するための効果的かつ継続的な内部質保証の体制を整備している。
8.2	参加大学は、6.1の方法により把握した学生の学習成果に関する情報を踏まえ教学の体制の改善に資する仕組みを整備している。
8.3	参加大学は、参加大学間の定期会合や、学生、その他のステークホルダーからの意見聴取等の手段を用いて課題を可視化し、プログラムの運営体制の改善策を検討するための内部質保証の手順を整備している。
8.4	参加大学間で整備した内部質保証の体制・手順が有効に機能している。
8.5	参加大学間で協働して、プログラムの持続可能な運営を担保するための、財政面や人材面を含めた方策を検討する予定がある。

(備考) 本基準は、高等教育及び大学間交流を取り巻く環境の変化に応じて、3～5年ごとに必要に応じて見直し、改定する。

V. 共通質保証基準及び解説資料

共通質保証基準の内容をより深く理解してもらえるよう、各基準に対する説明をまとめた「解説資料」を作成しました。また、これらの基準を用いて外部・内部評価を行う際の参考として、基準を満たすことを示す根拠や補足資料の例を示した「根拠書類の例」も併せて示しています。

1. 共通質保証基準解説資料（英文）

Common Quality Assurance Standards

- Enhancing Quality Collaboration for Inter-University Exchanges in Asia -

A. Fundamental Principles

The inter-governmental scheme by China, Korea, and Japan has been successfully promoting inter-university exchanges with quality assurance since 2011. In expanding this scheme throughout Asia, the Higher Education Institution (hereafter HEI) endorses the following fundamental principles and undertakes to implement them accordingly:

- The HEI undertakes to further enhance the international competitiveness of Asian universities and promote educational and academic exchanges that will serve as the foundation for mutual understanding and long-term harmonious relations within the region. Additionally, in line with the scheme, which aims to create a higher education community based on an international network of universities in Asian countries aspiring toward the peaceful development of Asia, the HEI, together with partner institutions, contributes to the realization of these objectives as a member of this framework.
- The HEI guarantees to provide programs under the scheme to enhance quality higher education in Asia by responding flexibly to societal changes, while complying with the relevant laws and regulations of each higher education system, and establishing appropriate structures and various types of support to ensure the continuity of students' learning.
- The HEI offers essential information regarding the available programs for students, who are considered as primary stakeholders, to make informed choices. It provides education in accordance with the students' interests and concerns, following student-centered principles and ensuring academic rigor.
- The HEI respects in full the principles of equality, equity, inclusiveness, diversity, and openness to the society.

B. Standards

The HEI undertakes to ensure maintaining and continuing to implement these standards as a participating HEI in international collaborative academic programs in Asia.

1. Establishment and Sharing of Objectives

1.1

The HEI, with partner institutions, clearly defines the objectives of the program, the personality to be cultivated, and the expected learning outcomes in terms of students' knowledge, skills, and attitudes, and shares them among stakeholders. The HEI also considers the expected social impact of its programs upon setting objectives.

■ Explanatory Notes

When a consortium develops and manages an inter-university exchange program, it is important that the participating institutions carefully define the program's objectives, the personality to be cultivated, and the expected learning outcomes, ensuring that these are shared among stakeholders. It is essential that expected learning outcomes be continuously recognized and prioritized within participating institutions throughout all stages of program implementation, including the review of assessment methods, sharing of results, curriculum design, student support, and internal quality assurance. The stakeholders referred to here primarily include students and faculty involved in the program, relevant institutional units, and partner institutions. They also encompass broader actors such as organizations and local communities related to the program. It is desirable that social impact of the program is also considered when setting objectives.

■ Examples of Supporting Documents

- Agreements, memorandums of understanding (MOU), and other documents of agreement with overseas partner institutions
- Program website
- Symposium materials (including event invitations, program descriptions, etc., providing details on objectives and purposes)

2. Implementation Structure

2.1	The HEI has made an agreement among partner institutions in which the basic policies of the program, such as the program management system, responsibilities toward students, and expense sharing, are documented.
2.2	The HEI clearly states the operational structure of program implementation and relevant responsibilities as well as the support system provided by related organizations within the institution.
2.3	The HEI has established an educational management system in which faculty and staff members involved collaborate and implement the program effectively and sustainably.
2.4	The HEI appropriately establishes a program-coordinating function and maintains mechanisms for regular communication and coordination among partner institutions.

■ Explanatory Notes

To ensure effective program management, it is essential that all participating institutions be actively engaged and appropriately share values and responsibilities. In addition, a well-designed implementation structure must be established. The basic policies of the program should be thoroughly discussed among the participating institutions and formalized through written agreements. Each institution is expected to develop a comprehensive support system in collaboration with relevant internal departments, alongside a clear operation and accountability framework, and to establish an academic structure that enables involved members to work together effectively. Furthermore, mechanisms for regular communication and coordination among partner institutions should be in place to address day-to-day issues collaboratively. In addition, securing faculty members with international proficiencies and substantial expertise is essential. Support measures and mechanisms that encourage faculty members' active participation should be established to ensure sustainable management of the program.

■ Examples of Supporting Documents

- Agreements, memorandums of understanding (MOU), and other documents of agreement with overseas partner institutions*
- Documents summarizing international strategies
- Program website*
- Documents on program implementation structures (including university-wide support systems)
- Documents on educational management systems of the program
- Documents on coordination functions of the program

3. Curriculum

3.1	The HEI cooperates and collaborates with partner institutions to design a curriculum, including project advisory plans aligned with the program's objectives and expected learning outcomes.
3.2	The HEI ensures to provide its curricula based on the cooperation among faculty members of partner institutions. The HEI is prepared to utilize various teaching methods effectively, encompassing online and hybrid, in addition to face-to-face education.
3.3	The HEI provides detailed information on curricula and subjects such as course descriptions, language of instruction, lecture style, credits, student workload, expected learning outcomes, and grading methods. This information is included in the syllabus or other supplemental documents, while making the latest information available to students.

■ Explanatory Notes

It is essential that the curriculum be designed based on the program's objectives and expected learning outcomes defined in 1.1, and that it be reliably delivered through cooperation among the participating institutions. It is also important to establish a framework that enables the effective use of flexible and diverse teaching methods to ensure continuity in student learning. Furthermore, it is critical that detailed information on the curriculum and courses be clearly stated in appropriate documents and that the latest information be made available to students. When providing information, timeliness and accessibility are also important considerations.

■ Examples of Supporting Documents

- Documents on the content of curricula (or research guidelines) and teaching methods
- Program overviews (brochures, newsletters, etc.)
- Syllabi, lists of courses
- Program application guidelines for students
- Documents on short-term exchange programs

4. Student Acceptance

4.1	The HEIs jointly establish and implement policies for letting students join the program according to its objectives, with envisaged learning outcomes that students will obtain taken into consideration. The HEIs also endeavor to assure a balanced student mobility among partner institutions.
4.2	The HEI has clearly set up a process to let students join the program (including eligibility for application and recognition of qualifications) while paying attention to equity and transparency with the provision of accurate information for students' decision-making.

■ Explanatory Notes

The participating institutions are required to jointly formulate and implement policies for student acceptance in accordance with the program's objectives and expected learning outcomes defined in 1.1. It is also expected to ensure balanced student mobility among the participating institutions. Furthermore, it is essential to establish clear processes for student acceptance while ensuring fairness and transparency, and to provide accurate and timely information that enables students to make informed decisions.

■ Examples of Supporting Documents

- Agreements, memorandums of understanding (MOU), and other documents of agreement with overseas partner institutions*
- Records of the number of exchange students.
- Program application guidelines for students*
- Learning agreements/research plan forms
- Program website*

5. Student Support for Learning and Living

5.1	The HEI agrees among partner institutions on the necessary learning and living support for students, based on the objectives and characteristics of the program. In addition, the HEI disseminates details of each area of support in an explicit manner to both prospective and current students.
5.2	The HEI adequately provides the agreed learning support to students. Examples of learning support include an academic advising system such as the placement of teaching assistants, course guidance, language learning support, and sufficient research and learning environments through libraries, information technology, and laboratory facilities.
5.3	The HEI adequately provides the agreed living support for students. Examples of students' living support include financial support, accommodation support, medical support, orientations, counseling, interaction with local communities, and risk management.
5.4	The HEI encourages interactions among students and alumni within and outside the program.

■ Explanatory Notes

Learning and living support for both incoming and outgoing students should be provided in various forms at each stage of an exchange program—before, during, and after participation. Therefore, it is essential that the participating institutions share and agree on what types of support are needed at each stage and ensure that they are appropriately implemented. For prospective and current participants, the details of each support measure should be presented in an explicit manner, with due consideration given to timeliness and accessibility. In addition, establishing ongoing student counseling services would also be beneficial.

■ Examples of Supporting Documents

- Agreements, memorandums of understanding (MOU), and other documents of agreement with overseas partner institutions*
- Program application guidelines for students*
- Program overviews (brochures, newsletters, etc.)*
- Program website*
- Campus guide book for students
- Documents showing the status of student and alumni exchanges

6. Learning Outcomes

6.1

The HEI has appropriately established methods for measuring the learning outcomes as defined in 1.1 and shared the results of the measurements in a timely manner among partner institutions.

■ Explanatory Notes

Participating institutions are required to establish appropriate methods for measuring students' learning outcomes (such as knowledge, skills, and attitudes) as defined in 1.1, and to share the measured outcome appropriately among participating institutions. It is desirable that learning outcomes be measured systematically in terms of both subject-specific and generic competences. Establishing a consortium-level framework for measuring learning outcomes is highly desirable. Furthermore, accumulating and analyzing medium-to long-term data, such as monitoring the impact of learning outcomes on graduates' career paths and employability, is considered highly beneficial.

■ Examples of Supporting Documents

- Documents on the evaluation methods of learning outcomes (syllabi, survey of learning outcomes, rubric, etc.)
- Samples of learning artifacts created by students (reports, collections of work, portfolios)
- Analysis of students' submissions to domestic and international academic journals
- Overviews of student questionnaires and documents confirming the results

7. Credit Transfer and Degree Awarding

7.1	The HEI promotes mutual understanding of the credit system of each institution and has made agreements on credit transfer and recognition.
7.2	The HEIs have a collective understanding of each grading method and standard.
7.3	The HEI provides information, without any delay, to students and their home institutions on their academic records, such as credits and grades, in a transparent and explicit manner. The HEI properly manages the academic records of students based on mutual agreement among partner institutions.
7.4	In the case of degree-seeking programs, the HEI has established an appropriate review system, processes, and standards according to the types of degrees awarded. Particularly for joint degree and double degree programs, the HEIs have jointly arranged and properly managed the standards and assessment system based on mutual agreement according to the objectives of the program.

■ Explanatory Notes

When developing a credit transfer framework, it is essential for participating institutions to understand credit systems, grading methods and standards of each institution, and formalize agreements on credit transfer and recognition among the participating institutions while paying attention to the content and level of education to be transferred. In order for students to fully benefit from the credit transfer system, it is important to clearly specify in advance the courses that are eligible for transfer. For example, creating and making available subject comparison tables for credit transfer would assist exchange students in selecting courses, enable faculty members to verify course equivalency during credit transfers, and enhance the overall transparency of the program. It is essential that students' academic records be provided to students and their home institutions in a transparent and explicit manner without any delay. In addition, participating institutions need to manage academic transcripts and related documents appropriately, based on mutual agreement. In the case of degree-seeking programs, it is necessary to establish degree conferral policies and review systems in accordance with the objectives of each program and ensure their proper implementation.

■ Examples of Supporting Documents

- Agreements, memorandums of understanding (MOU), and other documents of agreement with overseas partner institutions*
- Regulations/guidelines for credit transfer and recognition
- Regulations/guidelines for grading methods/standards
- Program overviews (brochures, newsletters, etc.)*
- Degree-granting program implementation status
- Regulations for completion requirements
- Documents outlining structures, processes, and standards for the evaluation of the relevant degrees

8. Continuous Quality Improvement

8.1	The HEI has developed an effective and continuous internal quality assurance system including the appointment of responsible bodies for implementation to promote the quality improvement of the program.
8.2	The HEI has established a mechanism that contributes to the improvement of educational management based on the information on students' learning outcomes obtained by the method described in 6.1.
8.3	The HEI has developed procedures for internal quality assurance to identify issues through regular meetings among partner institutions and feedback from students and other stakeholders, and consider measures for the improvement of program management.
8.4	The internal quality assurance system and procedures for the program jointly developed by the HEIs are functioning effectively.
8.5	The HEIs jointly plan to consider various measures, including financial schemes and the availability of adequate human resources, to ensure sustainable operation of the program.

■ Explanatory Notes

To ensure the continuous improvement of the program, participating institutions should establish and effectively implement an internal quality assurance system and procedures, based on thorough consultation among institutions. Using information on student learning outcomes identified through the method described in 6.1, institutions should analyze the achievement of expected learning outcomes and identify areas for improvement through stakeholder feedback, including students. These processes should lead to ongoing enhancement of the program. Furthermore, to ensure the program's sustainability, strategies for securing financial and human resources should be developed collaboratively, and a long-term operational foundation should be established.

■ Examples of Supporting Documents

- Documents confirming the program's internal quality assurance regulations and implementation structures
- Overviews of student questionnaires and documents confirming the results*
- Reports on internal quality assurance activities
- Documents providing evidence that efforts for improvements have been made in regard to challenges discussed among participating universities

* = Previously mentioned document

[NOTE] These Standards will be reviewed and revised as necessary every three to five years in response to the changing environment of higher education and inter-university student exchange.

2. 共通質保証基準解説資料（参考和訳）

共通質保証基準

—アジアにおける大学間交流の質の高い連携促進に向けて—

A. 基本原則

中国、韓国、日本の政府間枠組みは、2011年以来、質保証を伴う大学間交流を推進し、成功を収めてきた。この枠組みをアジア全域に拡大するにあたり、参加大学は以下の基本原則を支持するとともに適切に履行することを約束する：

- ・ 参加大学は、アジアの大学の国際競争力を高め、域内の相互理解や将来にわたる友好関係の基盤となる教育学術交流を促進するとともに、アジアの平和的発展を視野に入れたアジア諸国における大学間国際ネットワークを背景とした高等教育共同体の形成を目指す枠組みの理念に沿って、連携大学と協働して本枠組みの一員として実現に向けて貢献する。
- ・ 参加大学は、アジアにおける質の高い高等教育を推進する枠組みの理念のもと、各高等教育システムの関連法令に従いつつ、社会の変化に柔軟に対応し、学生の学びの継続性を担保するために適切な体制と各種の支援策を整備したうえで、プログラムを提供することを保証する。
- ・ 参加大学は、主たるステークホルダーである学生の選択に必要なプログラムに関する情報を提供するとともに、学生中心の原則に従い、学術の厳正性を確保しつつ、学生の利益と関心に沿った教育を提供する。
- ・ 参加大学は、平等性、公平性、包摂性、多様性及び社会への開放性の原則に最大限配慮する。

B. 基準

参加大学は、アジアにおける国際的な大学間交流プログラムの一員として活動するにあたり、これらの基準を維持し、継続的に満たすよう努める。

1. 目的設定と共有

1.1

参加大学は、プログラムの目的や育成する人物像、知識・スキル・態度等の期待される学習成果を明確に定め、ステークホルダー間で共有している。また、参加大学は、目的設定の際に期待される社会的影響（インパクト）についても考慮に入れている。

■ 解説

コンソーシアムが大学間交流プログラムを構築・運営する際には、参加大学がプログラムの目的、育成する人物像、期待される学習成果を明確に定義し、これらがステークホルダー間で共有されていることが重要である。期待される学習成果は、その測定方法や結果の共有に加え、カリキュラム設計、学生支援、内部質保証など、プログラム運営のあらゆる段階において、参加大学内で継続的に認識・重視されることが不可欠である。

ここで示すステークホルダーには、第一義的にはプログラムに参加する学生及び教職員、学内関係組織、連携先高等教育機関関係者を指すが、プログラムに関係する組織や地域社会といった広義のアクターも含まれる。

なお、目的を設定する際には、プログラムの社会的影響（インパクト）についても考慮することが期待される。

■ 根拠資料の例

- ・ 海外連携校との協定書や覚書等の合意文書
- ・ プログラムウェブサイト
- ・ シンポジウム等資料（開催案内やプログラム説明資料等、目的等の記載が確認できる資料）

2. 実施体制

2.1	参加大学間でプログラムの運営体制や学生に対する責任、経費の分担等のプログラムの基本の方針を協定等により書面化している。
2.2	参加大学は、プログラムの実施・責任体制及び学内関係組織による支援体制を明確にしている。
2.3	参加大学は、プログラムの関係教職員が相互に協働し、プログラムを効果的かつ持続的に実施するための教学の体制を整備している。
2.4	参加大学は、プログラムの調整機能を適切に構築し、参加大学間の定期的な連絡調整の仕組みを整備している。

■ 解説

効果的なプログラム運営には、すべての参加機関が積極的に関与し、価値と責任を適切に共有することが不可欠である。また、実施体制を適切に構築する必要がある。プログラムの基本方針は、参加機関間で十分に協議した上で、書面による合意を通じて明文化することが求められる。参加大学は、関連する学内部署と連携した包括的な支援体制を整備し、明確な運営及び説明責任の枠組みを構築するとともに、関係者が効果的に協働できる教学体制を確立することが期待される。さらに、日常的な課題に共同で対応するため、参加機関間で定期的な連絡・調整の仕組みを整備することが重要である。

また、国際対応能力を備える、専門性の高い教員の確保が不可欠である。プログラムを持続的に運営するためには、教員の積極的な参画を促すための支援や仕組みを整備することが求められる。

■ 根拠資料の例

- ・ 海外連携校との協定書や覚書等の合意文書※
- ・ 国際戦略をまとめた資料
- ・ プログラムウェブサイト※
- ・ プログラムの実施体制（学内の支援体制を含む）が確認できる資料
- ・ プログラムの教学体制が確認できる資料
- ・ プログラムの調整機能が確認できる資料

3. カリキュラム

3.1	参加大学は、協働でプログラムの目的及び期待される学習成果を踏まえて、指導計画を含む適切なカリキュラムを構成している。
3.2	参加大学間の教員の協働に基づき、参加大学はカリキュラムを確実に提供している。その際に、対面型に加えオンライン型やオンラインと対面を組み合わせたハイブリッド型を含む多様な教授方法を効果的に用いる準備ができています。
3.3	参加大学は、授業内容、指導言語、講義方式、単位数、学生の学習量、期待される学習成果、成績評価方法等のカリキュラムや科目に関する詳細な情報を提供している。この情報は、シラバスやその他の補足資料に含まれており、学生が最新の情報を入手できる状態にしている。

■ 解説

カリキュラムは、基準 1.1 で定めたプログラムの目的や期待される学習成果を踏まえて設計し、参加大学間の協働に基づき確実に提供されることが不可欠である。また、学生の学びの継続性を担保するため、柔軟で多様な教授法を活用できる体制を構築することも求められる。さらには、カリキュラムや科目に関する詳細な情報を、適切な文書に明記し、学生に最新の情報を提供することが重要である。なお、情報提供にあたっては、適時性とアクセスの容易さも重要な要素である。

■ 根拠資料の例

- ・カリキュラム（又は研究指導）の内容や教授方法が確認できる資料
- ・プログラム概要（パンフレット・ニュースレター等）
- ・シラバス・履修科目一覧
- ・プログラムの学生募集要項
- ・短期交流プログラムに関する資料

4. 学生の受入・派遣

4.1	参加大学は、プログラムの目的や学生が修得するであろう学習成果を考慮した上で学生受入・派遣の方針を協働で策定・運用しており、参加大学間でバランスのとれた学生の流動性を確保するよう努めている。
4.2	参加大学は、学生受入・派遣のプロセス（プログラムへの申請資格及び資格の承認を含む）を公平性・透明性に留意しつつ明確に定めており、学生の意思決定のための正確な情報を提供している。

■ 解説

参加大学は、基準1.1で定めたプログラムの目的や期待される学習成果に沿って、学生の受入・派遣の方針を策定・運用することが求められる。また、参加大学間で、バランスの取れた学生の流動性を確保することが望まれる。さらに、応募資格や資格の承認を含む、学生の受入・派遣のプロセスを明確に定め、公平性と透明性を確保し、学生が意思決定できるよう正確でタイムリーな情報を提供することが不可欠である。

■ 根拠資料の例

- ・ 海外連携校との協定書や覚書等の合意文書※
- ・ 学生交流の実績
- ・ プログラムの学生募集要項※
- ・ ラーニングアグリーメント・研究計画書の様式
- ・ プログラムウェブサイト※

5. 学習・生活支援

5.1	参加大学は、プログラムの目的・内容を踏まえて、参加大学間で必要な学習支援策及び生活支援策について合意している。また、プログラム参加希望者及び参加者に対して各支援の内容を理解しやすい形で周知している。
5.2	参加大学は、合意した学習支援策を学生に対して適切に提供している。学習支援の例として、TAの配置を含む参加学生に対する指導体制の構築、履修ガイダンスや語学学習の提供、図書館・IT・実験施設等の十分な研究・学習環境の整備が挙げられる。
5.3	参加大学は、合意した生活支援策を学生に対して適切に提供している。生活支援の例として、経済的支援、住居支援、医療支援、オリエンテーションの実施、カウンセリング、地域とのつながりの支援、リスク管理が挙げられる。
5.4	参加大学は、プログラム内外の学生・修了者の交流を支援している。

■ 解説

プログラムに参加する受入・派遣双方の学生に対する学習・生活支援は、参加前、参加中、参加後の各段階で多様な形で提供することが求められる。そのため、各段階においてどのような支援が必要となるかについて、参加大学間で認識を共有・合意し、適切に提供することが不可欠である。プログラム参加希望者及び参加者に対しては、各支援の内容を理解しやすい形で提供することが求められる。また、その際には、適時性とアクセシビリティについても配慮する必要がある。加えて、継続的な学生相談体制を整備することも有益である。

■ 根拠資料の例

- ・ 海外連携校との協定書や覚書等の合意文書※
- ・ プログラムの学生募集要項※
- ・ プログラム概要（パンフレット・ニュースレター等）※
- ・ プログラムウェブサイト※
- ・ 学生生活案内
- ・ 学生・修了生の交流状況がわかる資料

6. 学習成果

6.1

参加大学は、1.1で定めた学習成果の測定方法を適切に設定し、測定結果を参加大学間で適時に共有している。

■ 解説

参加大学は、基準1.1で定めた育成する人物像に基づき、参加学生の学習成果（知識・スキル・態度等）を測定するための適切な方法を構築し、測定結果を参加大学間で適時共有することが求められる。学習成果は、教科の専門能力と汎用的能力の両面から体系的に評価されることが望ましい。また、コンソーシアムレベルでの学習成果測定の枠組みを確立することが望ましい。さらに、学習成果がプログラム修了生の進路やキャリアパスに及ぼす影響をモニタリングするなど、中長期的なデータを蓄積・分析することも有益である。

■ 根拠資料の例

- ・ 学習成果の測定方法が確認できる資料（シラバス、学習到達度調査、ルーブリック 等）
- ・ 学習成果物（レポート、作品集、ポートフォリオ）のサンプル
- ・ 学生アンケートの概要とその結果が確認できる資料

7. 単位互換・学位の授与

7.1	参加大学間で各大学の単位制度について相互理解が図られ、単位互換や単位認定の取り決めを交わしている。
7.2	参加大学間で各大学の成績評価方法と基準を理解している。
7.3	参加大学は、学生が修得した単位・成績等の学習歴情報を透明性があり理解しやすい形で学生本人や相手大学に遅滞なく提供している。また、参加大学は参加大学間の合意に基づき、適切に学生の学業成績証明書等を管理している。
7.4	学位授与を伴うプログラムの場合、参加大学は、授与する学位の種類に応じた審査の体制、プロセス及び基準を適切に設定している。特にジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリープログラムにおいては、参加大学間の合意に基づき、基準や審査の体制をプログラムの目的に応じて協働で整備し、適切に運営している。

■ 解説

単位互換の仕組みを構築するにあたっては、各大学の単位制度や成績評価方法を理解し、教育内容とその水準に留意しながら、参加大学間で単位互換や単位認定に関する取決めを明文化することが不可欠である。また、学生が単位互換制度を最大限活用できるよう、単位互換の対象となる科目を事前に明確に定義しておくことが重要である。例えば、単位互換の科目比較表を作成・公開することで、学生の科目選択が円滑になり、教員が単位互換時に科目の同等性を確認できるなど、プログラム全体の透明性の向上につながる。学生の学習歴情報は、学生本人や相手大学に透明性があり理解されやすい形で遅滞なく提供することが不可欠であり、また、参加大学は相互の合意に基づき、学業成績証明書等を適切に管理する必要がある。なお、学位授与を伴うプログラムの場合、各プログラムの目的に応じて学位授与の方針や審査体制を整備し、適切に運営することが求められる。

■ 根拠資料の例

- ・ 海外連携校との協定書や覚書等の合意文書※
- ・ 単位互換・認定に関する規定・ガイドライン
- ・ 成績評価の方法・基準に関する規定・ガイドライン
- ・ プログラム概要（パンフレット等）※
- ・ 学位授与を伴うプログラムの実施状況・交流実績
- ・ 修了要件を定めた規定
- ・ 当該学位の審査に係る体制・プロセス・基準が確認できる資料

8. 継続的な質の向上

8.1	参加大学は、責任を持つ実施主体を定めることを含め、プログラムの質向上の取組を主導するための効果的かつ継続的な内部質保証の体制を整備している。
8.2	参加大学は、6.1の方法により把握した学生の学習成果に関する情報を踏まえ教学の体制の改善に資する仕組みを整備している。
8.3	参加大学は、参加大学間の定期会合や、学生、その他のステークホルダーからの意見聴取等の手段を用いて課題を可視化し、プログラムの運営体制の改善策を検討するための内部質保証の手順を整備している。
8.4	参加大学間で整備した内部質保証の体制・手順が有効に機能している。
8.5	参加大学間で協働して、プログラムの持続可能な運営を担保するための、財政面や人材面を含めた方策を検討する予定がある。

■ 解説

プログラムの継続的な向上を図るには、参加大学間で十分に協議を行い、効果的な内部質保証の体制と手順を整備し、有効に機能させることが不可欠である。基準6.1の方法より把握した学生の学習成果に関する情報を活用し、期待される学習成果の達成状況を分析するとともに、学生をはじめとするステークホルダーからの意見聴取等の手法を通じて課題を可視化し、プログラムの継続的な向上につなげることが求められる。さらに、プログラムの持続可能性を確保するため、財政面や人材面等の方策を検討し、長期的な運営基盤を構築することが望まれる。

■ 根拠資料の例

- ・プログラムの内部質保証に関する規定や実施体制が確認できる資料
- ・学生アンケートの概要とその結果が確認できる資料※
- ・内部質保証活動の報告書
- ・参加大学間で協議した課題等を改善への取組につなげていることが確認できる資料

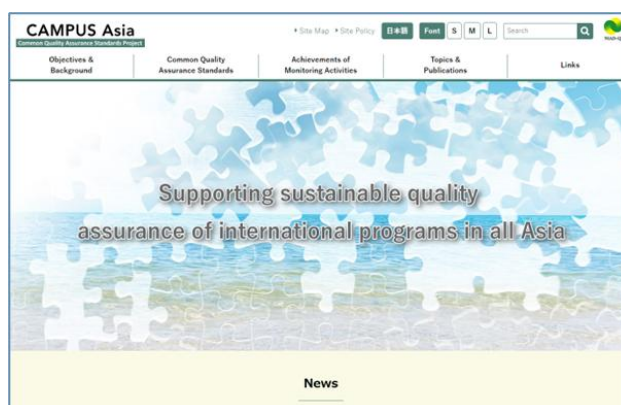
* = 既出資料

(備考) 本基準は、高等教育及び大学間交流を取り巻く環境の変化に応じて、3～5年ごとに必要に応じて見直し、改定する。

VI. 成果発信

1. 「キャンパス・アジア共通質保証プロジェクト」ウェブサイトを通じた情報発信

「キャンパス・アジア共通質保証プロジェクト」の情報を国内外に広く発信するため、2023年3月に専用ウェブサイト (https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/intl_engagement/qacampusasia/) を開設しました。日本語・英語の2言語で、コンテンツには、「目的・背景」、「共通質保証基準」「これまでの取組」「トピックス・報告・刊行物」「関連リンク」の5つを設けました。また、共通質保証基準策定の過程で開催・実施した会議や調査、及びプロジェクトの成果等に関する記事を2言語で随時掲載し、積極的な情報発信を行いました。



2. 国際会議等での発表

1) INQAAHE 隔年総会 2025 での日中韓共同による成果発表 (2025 年 5 月)

2025年5月13日～16日にかけて東京で開催された、高等教育質保証機関の国際ネットワーク (International Network for Quality Assurance Agencies in Higher Education : INQAAHE※) の隔年総会の分科会において、当機構は、中国 EQEA 及び韓国 KCUE と共同で、「キャンパス・アジア共通質保証プロジェクト」の成果発表を行いました。

発表では、「キャンパス・アジア」発足時からの日中韓共同による質保証の取組や、共通質保証基準策定の背景、過程、基準の構成等について世界各国・地域からの参加者に紹介しました。プロジェクトの成果である共通質保証基準 (2025年4月確定) を用いた初めての発表となり、質疑応答では基準の活用等に関する活発な議論が行われ、多数の貴重なご意見をいただきました。



発表の様子

※INQAAHE は、高等教育の質の評価、改善及び維持に関する理論や実践について、情報収集及び情報提供を行うことを目的として1991年に設立された国際ネットワーク。当機構は2001年7月より正会員として加盟しています。

2) 日仏高等教育研究質保証ワークショップでの成果発表 (2025 年 5 月)

2025年5月16日、当機構は、日本・フランスの大学間連携の一層の強化を目的として、在日フラン

ス大使館及びフランス研究・高等教育評価高等審議会（High Council for Evaluation of Research and Higher Education: Hcéres）との共同主催によるワークショップを開催しました。

このワークショップにおいても、当機構より、国際的な大学間連携の質保証の取組として、「キャンパス・アジア共通質保証プロジェクト」の成果発表を行いました。

3. 国際質保証制度設計成果発信シンポジウム（2025年11月）

2025年11月4日に国際質保証制度設計業務成果発信シンポジウムを開催しました。

本シンポジウムでは「国境を越えた高等教育の質保証：実践・視点・地域的アプローチの共有」をテーマに、国内外の有識者より、国境を越えて提供される高等教育の質保証についてご講演や事例紹介をいただきました。また、当機構は、中国及び韓国の質保証機関と共同で、2025年4月に確定した「共通質保証基準」の紹介を行いました。



広報用チラシ

■ 登壇者及び発表タイトル

- ・ 杉村 美紀 氏（上智大学 学長／総合人間科学部教授）
“Advancing International Higher Education in Asia: Functions and Implications of Common Quality Assurance Standards”
- ・ 西崎 博光 氏（山梨大学教授／国際化推進センター センター長）
“Initiatives of Internal Quality Assurance in the "Asia Real Problem Solving Driven AI Education Program" in Partnership with Four Asian Universities”
- ・ Douglas Blackstock 氏（欧州高等教育質保証協会（ENQA）前会長）
“Quality assurance: building trust and confidence in Cross Border Higher Education, a perspective from Europe”
- ・ Margot Van den Broeck 氏（ルーヴェン・カトリック大学 大学教育質保証政策アドバイザー）
“Shaping the umbrella. Una Europa's internal quality assurance process for joint education”
<共同発表>
- ・ Seo Dongseok 氏（KCUE 大学イノベーション支援室シニアディレクター）
- ・ Luo Xiong 氏（北京科技大学教授）
- ・ 堀田 泰司（NIAD-QE 研究開発部客員教授）
“共通質保証基準の策定-Developing the Common Quality Assurance Standards”

杉村氏からは、「アジアにおける国際高等教育の推進：共通質保証基準の機能と意義」と題して、アジアにおける国際高等教育の流れや国境を越えて提供される教育の質保証の重要性、「共通質保証基準」の課題と可能性等についてご発表いただきました。

特に、これからのアジアにおける大学間交流の質保証では、多様性を基盤とすること、柔軟性をもたせること、持続可能な質保証メカニズムを支えること、さらには、質保証のイニシアティブを取る主体や基準の在り方といったことが課題となると指摘されました。その上で、「共通質保証基準」は、学生、教員、その他のステークホルダー



シンポジウムの様子

の共通のベンチマークとなり、相互理解を促進し、継続的な向上を支える役割を担うと強調されました。一方で、各国・地域の文脈や重視する要素の違いにも配慮しながら相互信頼を築くことや、「共通質保証基準」においても、拘束性を持たせるのではなく、基準を基盤として各主体がより良い仕組みを検討することが重要であると述べられました。

「キャンパス・アジア」採択コンソーシアムからの事例紹介においては、西崎氏から、「アジアの4大学連携における「実問題解決駆動AI教育プログラム」の内部質保証の取組」と題し、山梨大学が中国・韓国・マレーシアの大学とコンソーシアムを組んで取り組む「アジア実問題解決駆動AI教育プログラム」の概要と質保証の取組みについて紹介いただきました。

同プログラムの質保証の取組としては、①国際協定と枠組み、②運営・評価体制、③情報共有・連絡体制の3つの柱を設け、②においては、プログラム運営委員会に加えて外部評価委員会を設置して、外部委員からの助言をプログラムの改善に取り入れながら、PDCAサイクルを回していることが述べられました。

Blackstock氏からは、「質保証：国境を越えた高等教育における信頼の構築」と題して、欧州における国境を越えて提供される高等教育の質保証の現状と課題について俯瞰的にご講演いただきました。講演の中では、一口に「国境を越えた教育」といっても様々な形態があり、国や機関等によって定義も多岐にわたるため、時として共通理解が難しい場合があるといった指摘がなされました。また、「国境を越えて提供される教育の質保証に関するガイドラインやツール、枠組み等が既に存在する中、新たなガイドラインの作成も進められている。しかし、既存のガイドラインやツール等の認識や実施は依然として不十分であり、ガイドラインの新規作成や更新よりも、既存のガイドラインやツールの活用強化と普及に重点を置くべきだ」と主張されました。

また、質を伴った広範かつ多様な学びを学生に提供するためには、各国の政府や質保証機関による質保証の取組の相互理解と優良事例の円滑な共有、さらには、質保証へのアプローチの簡素化と多様化が重要であると指摘されました。国境を越えて提供される教育は、学生だけでなく、高等教育機関や雇用主など、様々なステークホルダーにとって素晴らしい機会となり、このような教育は、教育そのものへの信頼性と透明性、そして質保証への高い信頼の上に成り立っていると述べられました。

Van den Broeck 氏からは、「シェイピング・ジ・アンブレラ - Una Europa による共同教育のための内部質保証プロセス」と題し、欧州地域での国境を越えた大学間コンソーシアムである「欧州大学」に採択された「Una Europa」コンソーシアムの質保証の取組や課題について紹介いただきました。欧州の 11 大学が参加する同コンソーシアムでは、各参加大学から 3 名の上級研究者で構成される運営委員会を設けプログラムの監督を行っていることや、各参加大学から 1 名が参加する 8 つのクラスターを設け、そのうち最も重要視している質保証のクラスターでは、質保証の原則の策定、知識データベースの構築、責任の所在の明確化等を行っていることが紹介されました。

また、これまでの経験から、原則を策定した上で具体的な実践に落とし込むことや、相互理解と継続的な向上を目的とした、率直な対話や情報交換、柔軟性の確保が重要であり、何よりも学生に質の高い教育を提供するという第一の目的を常に念頭におくことが不可欠だと強調されました。

「共通質保証基準」の紹介では、基準策定の背景や基準の内容について詳細に説明を行い、シンポジウム後に行ったアンケートでは、参加者の大半より「共通質保証基準」への理解が深まった、関心を持ったとの回答をいただきました。

オンラインと対面で行った本シンポジウムには、国内外から 276 名の参加があり、盛況のうちに閉会しました。

当日の発表スライドは、次ページ及び機構ウェブサイトよりご確認ください。

<https://www.niad.ac.jp/event/event2025/entry-5768.html>



The International Symposium on CAMPUS Asia Common Quality Assurance Standards Project, NIAD-QE

Advancing International Higher Education in Asia: Functions and Implications of Common Quality Assurance Standards

4 November 2025

Miki Sugimura

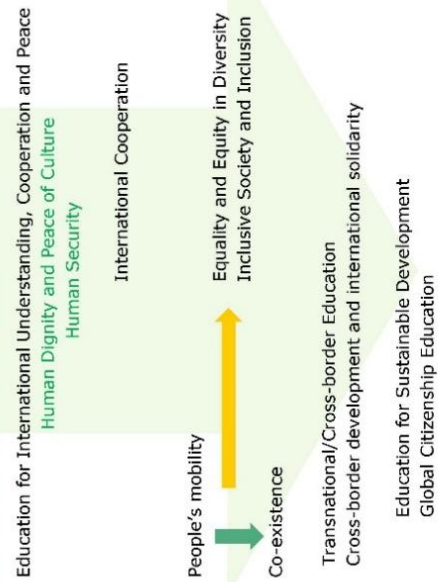
President, Professor of Faculty of Human Sciences

UNESCO Chair on Education for Human Dignity, Peace and Sustainability
Sophia University

Outline

1. Key topics and Roles of International Higher Education
2. International Higher Education Networks in Asia
3. Quality Assurance of Cross-Border Higher Education
4. Functions and Implications of Common Quality Assurance Standards

Key Topics in International Education



Roles of Education

—UNESCO (2021) International Commission on the Futures of Education

Rethinking Education towards 2050

- The place of education in wider society: strengthening a common public education
- The organization and governance of education: building inclusive educational ecosystems
- The content and methods of teaching and learning: fostering knowledge co-construction and pedagogical communing
- New times for teachers
- Key roles for higher education
- The urgency of global solidarity and international cooperation

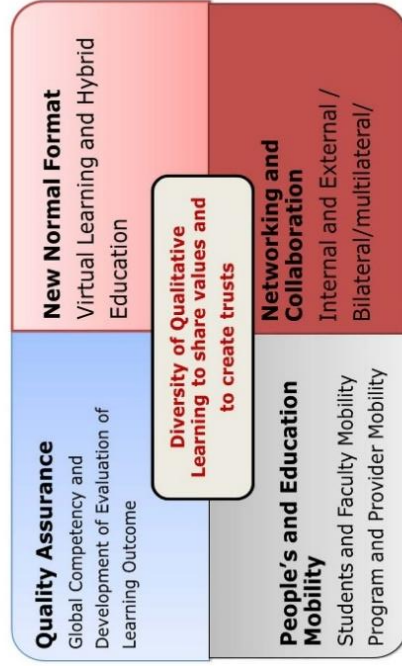
- 1) to play in strengthening the knowledge and educational common.
- 2) the role of universities in teacher education
- 3) decisive significance of universities in producing research and enabling the circulation of knowledge, which both supports educational policymaking and strengthens the school and pedagogical innovation.

Roles of International Higher Education —Platform for the Exchange and Co-creation of Knowledge

- A platform where intellectuals and ideas—carried along networks likened to the tracks of a moving vehicle—, **come together to exchange, combine, and co-create** new ways of thinking, fresh insights, emerging issues, shared goals, and potential answers
- Roles of international higher education
 - Creation of transcending boundaries of knowledge
 - An initiative characterized by academic interdisciplinarity and integrative scholarship, featuring:
 - A knowledge framework with universal relevance that transcends geopolitical boundaries and systemic differences
 - Connections that span across generations
 - A commitment to sustainability

5

Key Issues for Transforming International Higher Education



6

Factors Contributing to the Emergence of International Higher Education Networks

1. Globalization and the Rise of the Knowledge Society
 - The cross-border movement of information, talent, and technology is accelerating, compelling universities to enhance the quality of education and research through international collaboration.
 - Addressing global challenges—such as environmental issues, infectious diseases, and social inequality—requires international knowledge sharing and cooperative efforts.
2. Competition for Talent and Strategic Development of Education
 - Countries are striving to attract outstanding international students and researchers, advancing the creation of appealing educational environments through inter-university networks.
 - In Asia in particular, economic growth has driven the expansion of higher education, fostering the development of regional higher education zones.
3. Growth in educational and study-abroad demand among the general public, supported by rising economic capacity

7

Factors Contributing to the Emergence of International Higher Education Networks (continued)

4. Technological Advancement and the Spread of Distance Education
 - The proliferation of online international learning programs—such as COIL (Collaborative Online International Learning)—has enabled educational collaboration across physical boundaries.
 - Advances in network technologies have contributed to the innovation of educational modalities and the promotion of international joint research.
5. International Educational Cooperation and Institutional Support
 - Institutional frameworks such as quality assurance guidelines developed by UNESCO and OECD, as well as the Tokyo Convention on the recognition of qualifications in the Asia-Pacific region, have facilitated the formation of international networks.

8

International Guidelines for the Quality Assurance of Cross-Border Higher Education (by UNESCO and OECD, 2005)

The objective — to establish an international framework for quality assurance in cross-border higher education, in response to the growing provision of academic programs that transcend national boundaries.

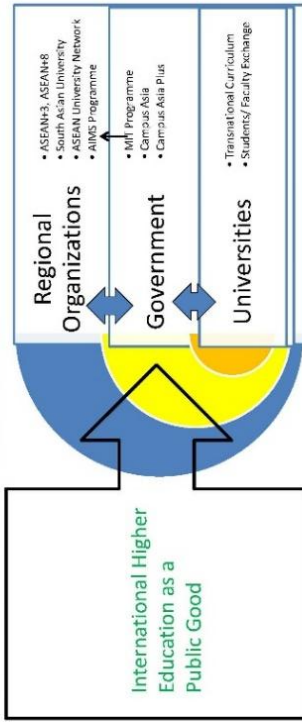
Key Actions for Quality Assurance in Cross-Border Higher Education

1. System Development through Multi-Stakeholder Collaboration
 - Cooperation between receiving and providing countries
 - Involvement of governments, HEIs, providers, student bodies, QA and accreditation agencies
2. Fair and Efficient Recognition of Degrees and Qualifications
 - Transparent processes for academic and professional recognition
 - Engagement of governments, HEIs, recognition bodies, and professional associations
3. Strengthening Networks and Partnerships
 - Building connections among domestic and international stakeholders
 - Promoting collaboration and mutual support across sectors
4. Clear and Reliable Information Provision
 - Ensuring accessible and accurate information on program quality
 - Shared responsibility among all stakeholders

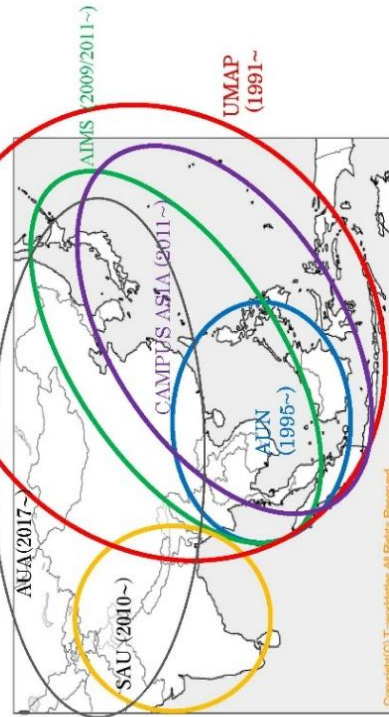
9

10

Key Actors in Regional Collaboration Networks in Higher Education in the Asian Context



International Higher Education Networks in Asia



Source: Sugimura

11

Functions of Regional Networks in Higher Education

1. **Facilitation of International Mobility**
 Advancement of cross-border mobility for students and academic staff, both within and beyond regional boundaries, contributing to the diversification and globalization of higher education ecosystems.
2. **Provision of Dialogic Platforms for Regional Issues**
 Establishment of inclusive spaces for learning and deliberation on transnational regional challenges, engaging not only students and faculty but also members of the broader public.
3. **Cultivation of Shared Perspectives on Regional Communities**
 Promotion of mutual understanding and conceptual alignment regarding regional communities among individuals from diverse cultural backgrounds.
4. **Generation of New Academic Frameworks and Disciplines**
 Encouragement of innovative academic inquiry and the development of emerging fields within the context of international higher education collaboration.

SOPHIA U

12

Functions of Common Quality Assurance Standards

Purpose:

To promote quality-assured inter-university exchange across Asia by offering a shared reference for program design and improvement.

Key Questions:

- What defines quality in exchange programs?
- How can that quality be sustained and enhanced?

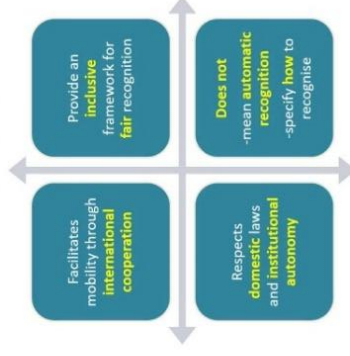
Functions:

- Serve as a common benchmark for students, faculty, and stakeholders
- Encourage mutual understanding of educational systems
- Support ongoing collaboration and continuous improvement between partner universities

17

Fostering cooperation among organizations —Asia-Pacific Network of National Information Centres (APNNIC)

- APNNIC is the official network of national information centres in the Asia-Pacific region concerning higher education since 2019.
- In line with the Tokyo Convention and international best practices, the network promotes fairness and transparency, which are necessary for high-quality recognition decisions to enable physical and virtual mobility.



(Source: APNNIC Website)

18

Recent Geopolitical Impacts on Higher Education

Reconstructing Internationalization

Due to geopolitical tensions and cases of restricted international joint research and student exchange programs are increasing.

Balancing National Security and Academic Freedom

In specific fields such as artificial intelligence and quantum technologies, restrictions on accepting foreign researchers and regulations on technology transfer have been tightened for national security reasons.

Higher Education as a Regional Strategy

Higher education institutions are being incorporated into regional geopolitical strategies, with efforts underway to attract universities and establish research hubs in targeted areas.

Regional Disparities in Educational Opportunities

Changes in university location policies have led to growing disparities in access to higher education between urban and rural regions.

19

Implications of Common Quality Assurance Standards

- Traditionally, East Asia has lacked a shared regional foundation for quality assurance across countries.
- Reference Guidelines Used in the Formulation of the Standards Emphasizing Key Principles with Respect for National Contexts
 - Diversity Across Countries
 - Flexibility in Implementation
 - Sustainability Through Collaboration (NIAD-QE, EQEA, KCUE)
- Enhancing shared perspectives and mutual trust through procedural engagement
- Designing a Framework of Standards
- Creating an international higher education zone: Provisionally titled "Asia for All" designed by Campus Asia

20



FOR OTHERS, WITH OTHERS

国際質保証制度設計業務成果発信シンポジウム (2025.11.04)
 「国境を越えた高等教育の質保証：異域・拠点・地域のアプローチの共有」

Initiatives of Internal Quality Assurance in the “Asia Real Problem Solving-Driven AI Education Program” in Partnership with Four Asian Universities

NISHIZAKI Hiromitsu
 Director of Promotion for Internationalization,
 University of Yamanashi

1

“Asia Real-World Problem-Solving Driven AI Education Program” (Asia Applied Artificial Intelligence: A³I)

- Selected in 2021 as one program under the “Project to Strengthen the Global Reach of Universities” (Campus Asia+)

Campus Asia Universities

2

A³I Program Leveraging Each University's Strengths

- Background: Problems Facing Asia and Japan**
 - Asia faces a shortage of AI talent and lacks established effective education models
 - Human resource development to solve real-world problems in local communities and industries using cutting-edge AI is urgently needed
- Program Objective: Pioneering Asia's Future Through AI Education**
 - Establish a new international industry-academia collaboration AI education model, serve as a bridge with Asian countries, and aim to cultivate AI talent to drive Society 5.0 and DX

Areas of Strength	Industry	Field
Computer vision	Manufacturing (Monozukuri)	Smart agriculture
Brain machine interface	Advanced AI	Rehabilitation
Smart robotics	On-campus	Healthcare
IoT	Multi-nationality	Smart city

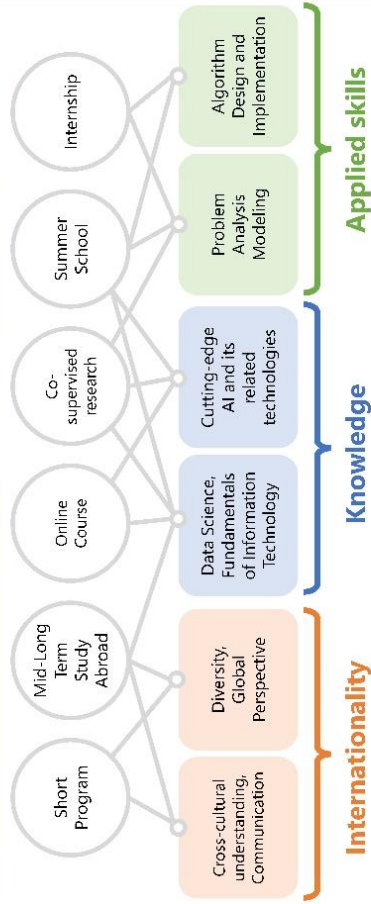
3

Contents Implemented in the A³I Program

- Short-term exchange “Short program”**
 - Developing a global mindset through cultural experiences and local exchanges in each country
 - Implementing technical training (summer schools) that leverages the strengths of each university
- Mid- to Long-Term Exchange (Dual-Degree Program)**
 - Establishment of a framework for credit transfer with quality assurance
 - Awarding of degrees in accordance with each university's regulations
- Establishment of a **Cross-Border Joint Research Supervision System** and Promotion of International Collaborative Research
- Online Course**
 - Faculty members from various universities conduct omnibus lectures
- Strengthening industry-academia collaboration networks that leverage the strengths of industry and regional characteristics
- Building and Operating an **Alumni Network**

4

Competencies and Capabilities Developed Through the A3I Program



5

Dual-Degree (DD) Program

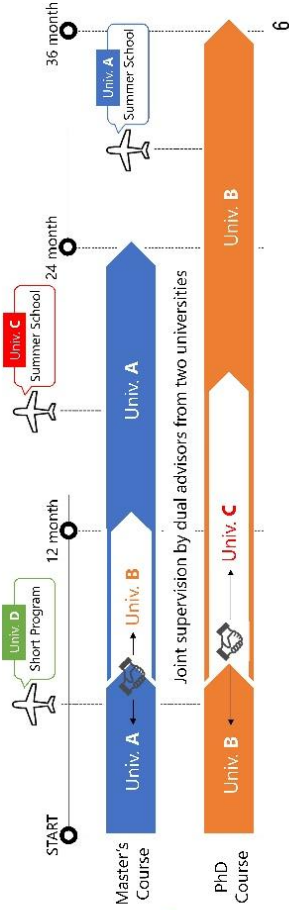


What is a dual degree program?

- A system in which students enroll in educational programs at different universities and earn two degrees simultaneously
- The A3I Program has concluded DD program agreements between four graduate schools*

* HDU-UnitMAP has not been signed yet

The DD Scheme in A3I



6

Major Achievements in the A3I Program



- **Establishment of an Educational Model**
 - University of Yamanashi, PKNU, HDU, and UnitMAP sign MoA to implement DD program
 - **Strengthening the Quality Assurance System:** Establishing Program Management and Improvement Processes through the A3I Steering Committee and the A3I International Evaluation Committee
- **Exchange Results**
 - Despite the impact of the COVID-19 pandemic, over **564 students** participated in various exchange activities by the end of 2024 academic year
 - **Number of DD degree holders:** Number of individuals who will have obtained a DD degree by the end of the 2024 academic year
 - X Master's Degree **5 students (UY)**, **3 students (PKNU)**
 - X PhD Program **5 students**
 - X Master's Degree **10 students (HDU)**
 - **International co-authored papers:** Over **50 papers** co-authored between A3I partner universities
- **Enhancing Student Capabilities**
 - Based on student survey results, improvements were confirmed in six competencies, including "communication skills with people from different cultural backgrounds," "cutting-edge AI knowledge," and "real-world problem-solving skills."

7

Preparations developed for A3I program (1/3)



- **Changes to student status system at Univ. of Yamanashi**
 - Students on exchange programs previously held "Study Abroad" status
 - A student could not register for courses offered at Univ. of Yamanashi
 - **Going on an exchange program inevitably delayed graduation by six months to one year**



New academic status system developed for A3I

- ✓ Students can now take UY courses online or on-demand while they are abroad
 - However, no separate curriculum will be prepared for students studying abroad; evaluation and credit recognition will follow the same scheme as for regular coursework
- ✓ Students will not postpone their graduation due to participation in the A3I program

8

Preparations developed for A³I program (2/3)



- **Expansion of Credit Transfer**
 - [Principle of Credit Recognition] The syllabus of the course for which the student earned credit must correspond to the syllabus of the course for which credit recognition is being considered
 - ✓ If the courses offered at the host and home institutions do not match, students must take many courses at both universities, imposing a heavy burden on them
 - To enable students to acquire broader knowledge beyond what is offered in the UY's educational program, the curriculum was revised and new courses eligible for credit transfer were added
 - ✓ "Basic Principles for the Operation of the Credit Transfer System" (MEXT Notice No. 328, Attachment 4)
 - When courses offered by other universities have a degree of equivalence sufficient to be considered within the scope of a specific category of elective courses at one's own university, credit may be granted even without a one-to-one correspondence in terms of content, level, and other factors.
- **Quality Assurance of Credit Transfer**
 - ✓ The Faculty of Engineering Education Committee reviews whether credits earned abroad align with the diploma policy and curriculum policy of the student's educational program.

UY operates a system that ensures quality while reducing the burden on students

9

Preparations developed for A³I program (3/3)



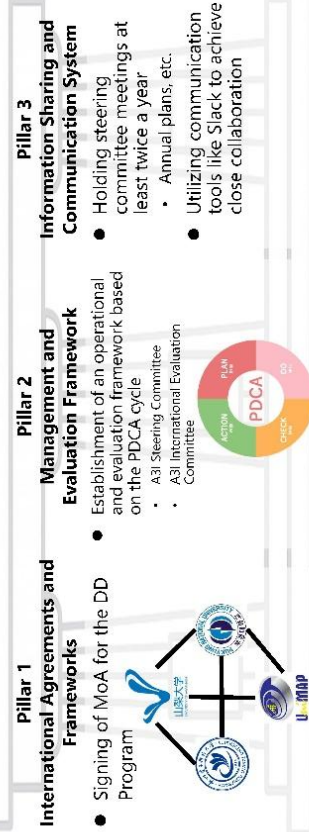
- **English-supported Courses in UY Master's Programs**
 - Increased English-supported courses across all educational programs in the Master's Program in Engineering at UY Graduate School even in educational programs unrelated to A³I
- **Establishment of joint research supervision system**
 - **Integration of research themes**
 - ✓ Matching of host faculty members based on research themes
 - ✓ Research supervision leveraging the strengths of supervising faculty at both sending and receiving universities
 - **Researcher exchange**
 - ✓ Visits by home university supervisors
 - **Co-authoring international research papers**
- **Student Support**
 - Mutual exemption of admission and tuition fees
 - Accommodation support
 - Religious considerations (providing prayer rooms)

10

Three Core Pillars Supporting Quality Assurance



The A³I Program



11

Quality Assurance of Educational Content



- **Quality Assurance Based on International Standards**
 - Quality assurance based on MEXT's "Guidelines for Establishing International Joint Degree Programs such as Joint Degrees and Double Degrees"
 - ✓ Education programs are also reviewed by the Internal Quality Assurance Committee at the University of Yamaguchi
 - Partner universities are also accredited by quality assurance agencies in their respective countries, such as the Accreditation Board for Engineering Education of Korea, the Board of Engineers Malaysia, and the Higher Education Teaching Evaluation Center of the Chinese Ministry of Education
- **Clarification of requirements for obtaining DD degree**
 - Based on each university's prescribed degree awarding process
- **Credit Transfer Scheme**
 - Establishment of a credit transfer scheme and effective course enrollment model
 - Newly established common courses (online courses) between universities, recognized as credits for completion

12

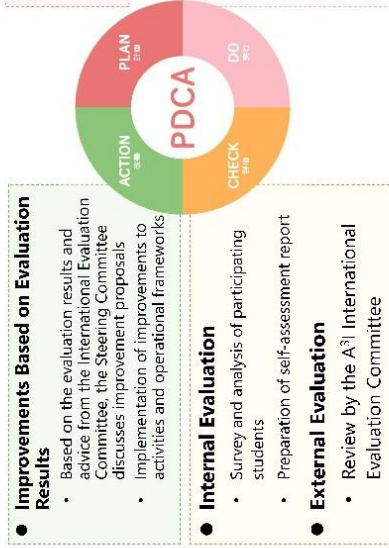
Establishment of an International Quality Assurance Framework



- **Quality Assurance System**
 - Establishment of an operational and evaluation framework following **the PDCA cycle**
- **Evaluation System**
 - **A³I Steering Committee**
 - ✓ Planning and decision-making: One representative each from each university responsible for education, research, and international affairs.
 - **A³I International Evaluation Committee**
 - ✓ Evaluation and advice by external experts: One academic and one industry representative appointed from each country
- **Degree**
 - Earn the required credits (or receive credit transfers) in accordance with each university's educational program regulations and policies
 - Dissertations are rigorously reviewed based on each university's degree examination regulations
- **Grading**
 - Development of a system capable of issuing transcripts that clearly visualize learning objectives and assessment methods, based on the "ASEAN+3 Guidelines on Transcripts and Supplementary Materials for International Students' Academic Records"

13

Quality Assurance PDCA Cycle



- **Improvements Based on Evaluation Results**
 - Based on the evaluation results and advice from the International Evaluation Committee, the Steering Committee discusses improvement proposals
 - Implementation of improvements to activities and operational frameworks
- **Internal Evaluation**
 - Survey and analysis of participating students
 - Preparation of self-assessment report
- **External Evaluation**
 - Review by the A³I International Evaluation Committee

- **A³I Steering Committee**
 - Review program curricula and credit transfer schemes
 - Planning various initiatives
- **Program Implementation**
 - Operation of short programs, summer schools, and short-term/mid-to-long-term study abroad programs according to the plan
 - Close collaboration between universities is maintained to resolve any unexpected issues that arise during program operation

14

Conclusion



- **Overview of the A3I Program**
 - **Purpose:** To serve as a bridge between Japan and Asia, fostering AI talent
 - **Target Talent Profile:** Individuals equipped with international perspective, knowledge, and applied skills
 - **Collaboration leveraging the strengths of four universities:** Yamaguchi University, PKNU, HDU, and UniMAP
- **Quality Assurance Framework for the Program**
 - **International Quality Assurance Framework:** PDCA cycle is implemented effectively. A system is established to conduct inspections by the Evaluation Committee and constantly measure improvement
 - **Quality Assurance of Educational Content:** Establishment of a quality-assured DD education program through credit transfer schemes, electronic transcripts, and collaborative research frameworks

The A³I Program aims for continuous development as an Asian AI talent development model, grounded in international quality assurance

15

Douglas Blackstock, former President
Campus Asia symposium
Tokyo, 4 November 2025

Quality assurance: building trust and confidence in Cross Border Higher Education, a perspective from Europe

enqa.

1

ABOUT ENQA

- 62 full members and likely to grow as agencies align with European Standards and Guidelines
- 42 affiliates with some likely to become full members
- The policy body for external quality assurance in Europe
- Represents member quality assurance agencies in policy dialogues in the European Higher Education Area
- Provides services to members to support development and for stakeholders in developing QA policy
- Works with members to drive the development of policy & practice in quality assurance & enhancement

ENQA's
members &
affiliates
safeguard
quality for 32.9
million students
in the European
Higher
Education Area

enqa.

2

THE COMPLICATED WORLD OF CROSS BORDER HE

- Opportunities: international collaboration; widening access; graduate mobility
 - Challenges: multiple forms; little shared language or understanding; guaranteeing quality
- A simpler focus for today:**
- Transnational education – an institution from one country delivering programmes in another country
 - Cross border collaboration - joint/dual programmes delivered in partnership by institutions from more than one country
 - Cross border accreditation - a 'market' approach whereby institutions choose an accrediting body from another country to suit their purposes.

3

enqa.

A SIMPLIFIED VIEW OF CROSS BORDER QA

QA of TNE: When an agency from the 'sending' country verifies the quality of the provision of an institution based in its country in the 'receiving' country

QA of joint and dual degrees: When a single exercise is conducted to verify the quality of a partnership of two or more institutions, conducted by a single or multiple agencies

Cross border accreditation: When a QA agency from one country accredits an institution in another country to replace or supplement national rules, for brand reputation or quality enhancement

4

EXISTING QA TOOLS & FRAMEWORKS

Guidance on Quality Provision
European Commission

ASEAN
QUALITY ASSURANCE FRAMEWORK

European Approach for Quality Assurance of Joint Programmes
October 2014
approved by EHEA ministers in July 2015

A TOOLKIT FOR QUALITY ASSURANCE AGENCIES

THE GOOD PRACTICES IN QUALITY ASSURANCE SYSTEMS

5

TRANSNATIONAL EDUCATION

Franchise programmes
Branch campuses
Distance learning
Joint programmes
Online education
Degree validation
Joint ventures
Partnerships
Independent HEI
University networks

TNE
CBHE

6

CONCERNS ABOUT QUALITY OF TNE

- Is the education the same standard as in the home country?
- What adaptations should be made to the local context?
- Will qualifications be recognised in the home country?
- Are students receiving value for money?
- How are stakeholders involved?

7

BACKGROUND AND POLICY CONTEXT (I)

2013-16 QACHE project
‘Quality Assurance of Cross-border Higher Education’
Toolkit with principles and recommendations for agencies and networks of agencies

2023 ENQA paper
Highlighted lack of transparent implementation of existing guidelines, need for clear roles and responsibilities, and for individual agencies/countries to take the lead

2024 Tirana Communiqué
EHEA Ministers committed to promoting a...
‘more robust and transparent quality assurance of transnational education delivered worldwide, in line with the ESG, to protect the interests of students.’

ENQA

2024 Tirana Communiqué
Protecting the interests of students on transnational education programmes: the role of transparent quality assurance

8

BACKGROUND AND POLICY CONTEXT (2)



Lisbon Recognition Convention

- 2022 monitoring report includes TNE
- Council of Europe and UNESCO are working on the new Code of Good Practice in the Provision of Transnational Education in the framework of the LRC Committee

Global Recognition Convention

- the Operational Guidelines, include provisions and guidance on TNE
- 2025 agreement to develop a draft subsidiary text on quality assurance, including that of transnational education

OECD/UNESCO Guidelines

- 2025 monitoring report concludes patchy awareness and implementation
- Recommendation to focus on strengthening use rather than updating the guidelines

9

SOME VIEWS OF TNE FROM OUTSIDE EUROPE



Albert Chow, HKCAVQ (Hong Kong)

"Key benefits include broadening of educational experiences in terms of quality, pedagogies and domain of programmes, especially when they are not available locally. Key risks include monitoring, adaptation of TNE to local context, especially where statutory or professional requirements exist."



Martin Strah, CONEAU (Argentina)

"Ensuring the quality of programs within Argentina is an unavoidable public policy and is related to the national recognition of degrees and subsequent professional practice. Foreign institutions wishing to offer their programs within the country must undergo a rigorous evaluation process..."



Olusola Oyewole, AAU (Africa)

"The expertise needed for ensuring the quality of transnational education is quite different from that of internal institutions. Protection of the learners is an issue that needs to be the concern of all but now the learners are open to the exploitations of various institutions."

10



BROADER CHALLENGES FOR TNE

Lack of data is a real problem

Even where regulatory frameworks do exist, the definition of TNE varies

Additional guidelines are in development for QA and TNE under the Lisbon and Global Recognition conventions.

OECD surveyed their states and confirmed that awareness and implementation of the OECD/UNESCO guidelines is patchy.

ENQA has concerns about the various initiatives to produce more guidelines etc. without real tools to ensure implementation.

ENQA's ROQA-TNE activities will focus on encouraging transparency and information provision.

11



ENQA'S ROQA-TNE PROJECT

Led by ENQA, the Robust QA of TNE project will focus on TNE delivered by sending institutions in the EHEA to receiving countries outside the EHEA

The project will:

- Explore and map current approaches to the QA of TNE by EHEA
- Facilitate the exchange of experience and peer learning, and share examples of good practice,
- Extend, update and disseminate guidance on QA of TNE for QA agencies
- Support QA agencies in reflecting on their own policies and methodologies

12

QA OF JOINT AND DUAL PROGRAMMES

Opportunities for students to learn in different cultures and environments and for institutions to share expertise and draw on expertise

Challenges: funding for students, and institutions operate within constraints of their own national contexts, legal and regulatory requirements

The 'European approach' to QA of Joint Programmes was developed to make this simpler, but systems do not often 'talk to each other' due to national requirements.

Ministers have asked that the European approach to QA of Joint Programmes will be updated as the ESG are revised.

QA agencies as enablers - ENQA work with the European Commission on QA for the 'European degree label' for joint programmes offered by European University Alliances

13

CROSS BORDER QA BY AGENCIES

'...cross-border QA refers to external QA activities of a QA agency carried out in a country other than the one in which it is based or primarily operates. For higher education institutions, this may be a voluntary process or part of the national mandatory external QA'

- Key Considerations for Cross-Border Quality Assurance in the European Higher Education Area



14

THE EUROPEAN POLICY COMMITMENT

In the framework of the Bologna Process, cross-border QA is supported, and in the Yerevan Communiqué (2015), ministers in charge of higher education in the EHEA committed to allowing :

“higher education institutions to use a suitable EQAR registered agency for their external quality assurance process, respecting the national arrangements for the decision making on QA outcomes”

15



BENEFITS OF CBQA (1)

Offers HEIS the possibility to

- identify an agency that best suits their own mission and profile, and which can in turn best meet their own needs
- strengthen the institutions' internationalisation policies and develop their collaboration with other foreign institutions
- help improve the recognition of their qualifications
- increase stakeholder engagement, strengthening the institutions' own responsibility for quality and the external acknowledgement of the institutions' efforts

as identified in 'key considerations'

16

BENEFITS OF CBQA (2)

For QA agencies, cross-border QA may provide

- a possibility to expand their national and international profile and gain prestige
- an increase in income
- learning opportunities to improve their own processes and methodologies
- the ability to promote continuous improvement within their specific field

as identified in 'key considerations'

17

enqa.

BUT THERE ARE ISSUES

- Not all countries have opened-up their systems to the possibility
- Even where countries have, there are practical/administrative barriers
- Open markets makes agencies financially unstable
- Some agencies have not accounted for the local context
- Concerns that the 'market' undermines emerging national agencies
- Are agencies using the ENQA & EQAR 'brands' for non-ESG activities
- Marketing activities that seek to discredit fellow agencies
- Are HEIs choosing for quality, or simply on price- the risks of 'accreditation shopping' are agencies cutting corners to win on price
- Desk based accreditation across continents

18

ADDRESSING CONCERNS

- The ESG are under review for adoption by Ministers in 2027
- There are proposals to have a stronger standard on professional conduct
- As part of the Bologna 'Thematic Peer Group' on QA, ENQA is developing a 'code of conduct' on CBQA
- ENQA will strengthen its guidelines for review of agencies in relation to lines of enquiry on CBQA and to operate in line with the revised ESG

19

enqa.

IN SUMMARY



Cross border higher education offers huge opportunities for students, institutions and broader stakeholders in HE



Quality assurance is central to ensuring it is trusted by students, governments, employers, and the public at large

20

SELECTED FURTHER READING

ENQA paper to European Quality Assurance Forum on protecting interests of students in TNE. [Governor_Blickstock-TNE-paper.pdf](#)

ENQA (ed). 2015. Cooperation in Crossborder Higher Education: A Toolkit for Quality Assurance Agencies. Brussels, Belgium. https://www.enqa.eu/wp-content/uploads/QACHE-Toolkit_web.pdf

ENQA, ESU, EUA, EURASHE, EQAR. 2017. Key consideration for Cross-border Quality Assurance in the European Higher Education Area. Brussels, Belgium. www.enqa.eu/wp-content/uploads/Key_Considerations-CBOA-EHEA.pdf

European Approach for Quality Assurance of Joint Programmes. Approved by EHEA ministers in May 2015. https://enqa.eu/wp-content/uploads/2015/06/European-Approach-OA-of-Joint-Programmes_Terevan-2015.pdf

OECD and UNESCO. 2005. Guidelines for Quality Provision in Cross-Border Higher Education. Paris, UNESCO. <https://web.archive.org/2012-06-15/147238-35779480.pdf>

21

Stay in touch!



Sign up to receive
our quarterly newsletter:
www.enqa.eu/contact/#newsletter

Follow ENQA on social media:



THANK YOU

enqa.

22

Shaping the umbrella.

Una Europa's internal quality assurance process for joint education

Tuesday, 4 November 2025



1

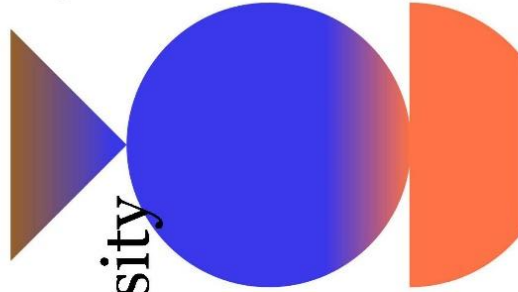
Outline

1. Understanding European University Alliances
2. Quality assurance in European joint programmes
3. The context of Una Europa
4. Launching a Joint Bachelor Programme within Una Europa
5. Expansion from flagship to a holistic QA system
6. Challenges in the development of an internal QA system for joint programmes
7. Lessons Learned and Policy Recommendations



2

Understanding European University alliances



3

European University Alliances: Strategic Integration Model

- European Universities alliances unite higher education institutions with shared strategic priorities to maximise their impact for the benefit of **students, academic and professional staff, and society**.
- Rooted in the *European Universities Initiative (EUI)*, launched in 2019 under Erasmus+, aiming to:
 - Improve the **international competitiveness** of higher education institutions in Europe and beyond
 - Foster **excellence, innovation and inclusion**
 - Promote **European values and identity**
- European Universities alliances connect colleagues from higher education institutions across the continent to **create new ways of learning, researching, and serving society**.
- European Universities alliances are building new bridges between higher education and wider society to tackle the **21st century's biggest challenges**.



4

The policy trajectory



- **Bologna Process** (1999–): Established the EHEA, harmonizing degree structures and QA standards.
- **Lisbon Strategy & Europe 2020**: Emphasized knowledge-based growth and innovation.
- **Erasmus+ and Horizon Europe**: Provided funding and strategic alignment for transnational cooperation.
- **European Universities Initiative** (2019):
 - Political endorsement by EU Council and Commission.
 - Competitive calls for alliances with long-term transformation agendas.



5

From vision to reality: Building European Universities

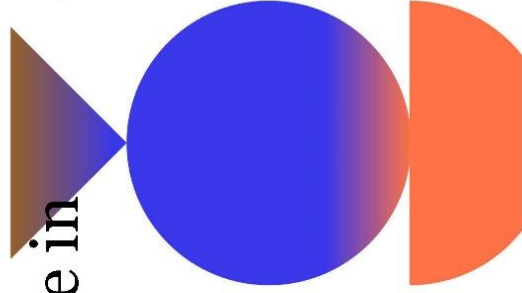


- Ambition to create a **network of European Universities by 2024** as flagships of European higher education.
- **High political support and momentum** at European and national levels.
- **Una Europa selected in the first pilot call in 2019** of the European Universities Initiative enabling it to assume a **pioneering role in shaping alliance-level policy, governance structures, joint education models, and internal quality assurance frameworks**.
- **Milestone in 2024: 64 alliances** spanning **35 countries**, representing over **500 higher education institutions** across Europe.



6

Quality Assurance in European Joint programmes



European coordination to foster collaboration

- Education remains a **national competence** within the EU. Member States define their own QA procedures, accreditation models, and recognition frameworks.
- Joint programmes require **cross-border cooperation** in curriculum design, delivery, and quality assurance. Fragmentation across national systems creates **operational and legal challenges**.
- The **Bologna tools** were developed as part of the Bologna process:
 - **European Standards and Guidelines** for the quality assurance in the European Higher Education Area (**ESG**): Common principles for internal and external QA.
 - **Qualifications Framework** for the EHEA (**QF-EHEA**): Aligns learning outcomes and degree levels.
 - **ECTS** (European Credit Transfer and Accumulation System): Facilitates credit recognition and transparency.
 - **Diploma Supplement**: Enhances international readability of qualifications.
- **EQAR**



7



8

Navigating QA Diversity Promise and Limits of the European Approach

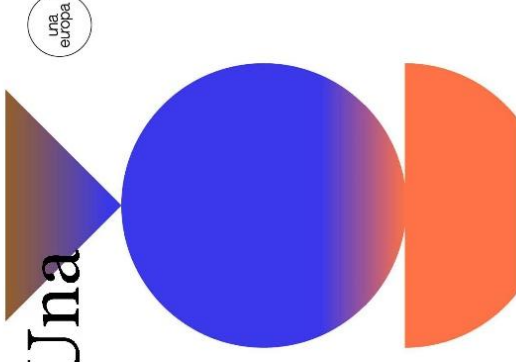


- No uniform QA pathway for joint programmes caused by **diversity in national QA systems**: programme-level accreditation, institutional accreditation, mixed models and institutions with self-accreditation rights.
- **European Approach** for QA of Joint Programmes (2015):
 - Designed to enable a single QA procedure for joint programmes across borders.
 - Based on ESG and requires use of EQAR-registered agencies.
 - Aims to reduce duplication and foster trust.
- **Implementation Challenges**:
 - Not all Member States have adopted the European Approach.
 - Legal and procedural barriers persist.
 - Institutional awareness and regulatory alignment vary widely.

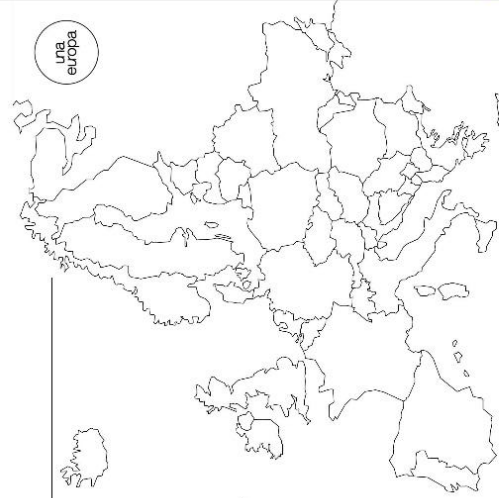


9

The context of Una Europa



10

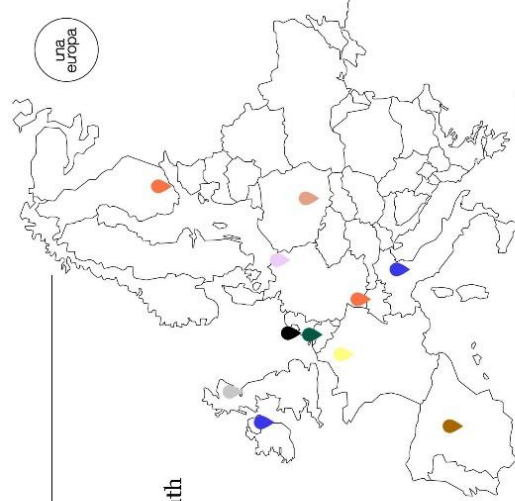


What is Una Europa?

- Una Europa is an alliance of **11 leading universities** from all corners of Europe.
- Together, we are forging a new path for education and research in Europe and beyond to shape our shared future for the better.
- Founded in 2019, Una Europa has secured successive rounds of European Union funding to realise our vision for a European University of the Future.
- Guided by our **2030 Strategy**, Una Europa is working towards a **truly inter-university and pan-European campus**, shaped by universities' central obligations to society, research and innovation, teaching and learning, and societal outreach.
- We promote common **European values** by including cross-border collaboration. Our joint activities and deliverables should enable **interdisciplinary, intercultural and international** collaboration.



11



Una Europa partner universities

- + Freie Universität Berlin
- + Università di Bologna
- + University College Dublin/An Coláiste Ollscoile Baile Átha Cliath
- + University of Edinburgh
- + Helsingin Yliopisto/Helsingfors universitet
- + Universiteit Leiden
- + Uniwersytet Jagielloński w Krakowie
- + KU Leuven
- + Universidad Complutense de Madrid
- + Université Paris 1
- + Panthéon-Sorbonne Université
- + Universität Zürich



12

Our Focus Areas

Each focus area fosters multidisciplinary and includes most of the studies offered at our universities. The Focus Areas act as the thematic 'glue' that ties our universities together in our mission to create a virtual campus.



Cultural Heritage

Europe and the World

One Health

Sustainability

Future Materials & Technologies



Co-funded by the Erasmus+ Programme of the European Union

Our Transversal Themes

The guiding principles for our collaboration



Student-centred and research driven teaching & learning, informed by cultural and linguistic awareness

Mobility of Students, Professional Staff and Academic Staff

Research & Innovation

International dimension

Sustainability and Climate Protection

Diversity and Inclusion

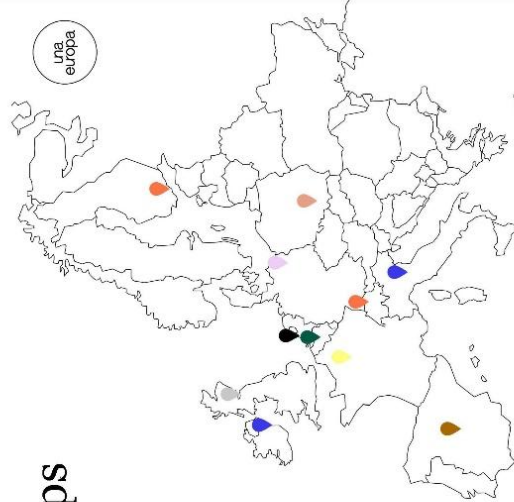


Co-funded by the Erasmus+ Programme of the European Union

Una Europa Groups

To implement Una Europa's projects peers from the 11 different partner universities collaborate in different Una Europa groups:

- + Self Steering Committees
- + Clusters
- + Groups related to our transversal themes
- + Ad hoc working groups



Co-funded by the Erasmus+ Programme of the European Union

Self Steering Committees (SSC)

The collaboration within the alliance focuses on six **interdisciplinary areas**: Cultural Heritage, Sustainability, Europe and the World, Future Materials, Data Science and AI, and One Health. The collaborations within each of these interdisciplinary areas is coordinated by a **Self-Steering Committee** consisting of **academics** from different partner universities and different disciplines.

- 3 academics per partner university
- rotating chair
- development of strategies and action plans for collaboration



Co-funded by the Erasmus+ Programme of the European Union

Clusters

Clusters bring together professional experts from the different partner universities on a certain topic:

- Student Administration
- Legal Affairs
- Interoperability
- Mobility
- Research Coordination
- **Quality Assurance**
- Teaching & Learning
- Doctoral Training



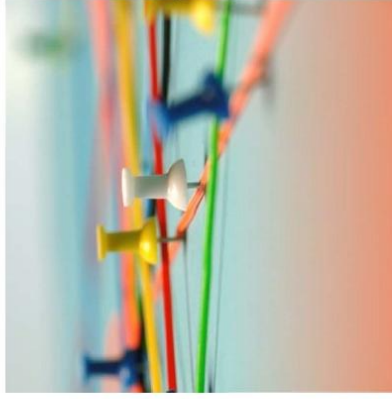
una
europa

Co-funded by the
European Union

17

Groups related to our transversal themes

- Diversity Council
- Task Force for Sustainability and Climate Protection
- Task Force International
 - Africa Working Group
 - Latin America Working Group



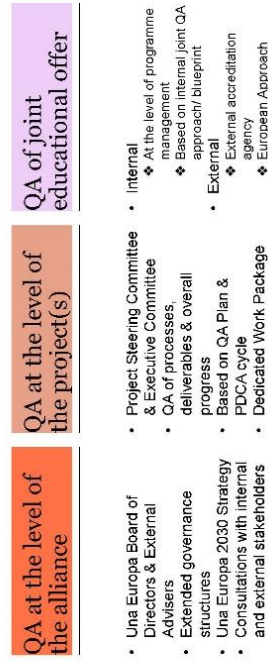
una
europa

Co-funded by the
European Union

18

Quality Assurance Approach

Principle: Maximum alignment in the development of Quality management of Una Europa at the level of the alliance, quality assurance at the level of project(s) and internal and external quality assurance at the level of our joint educational offer.



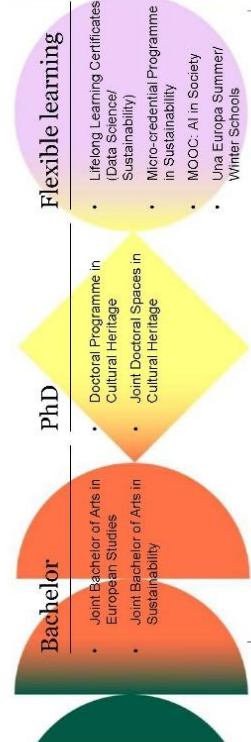
Co-funded by the
European Union

19

Advancing European higher education

The education of future European citizens is vital in facing major societal challenges. Universities are uniquely positioned to play a key role in this endeavour.

Una Europa is committed to equipping the leaders and problem-solvers of tomorrow by advancing European higher education for all learners.



Una Europa's portfolio of courses and programmes

Co-funded by the
European Union

20

Launching a joint bachelor programme within Una Europa

Case study: Joint bachelor of Arts in European Studies

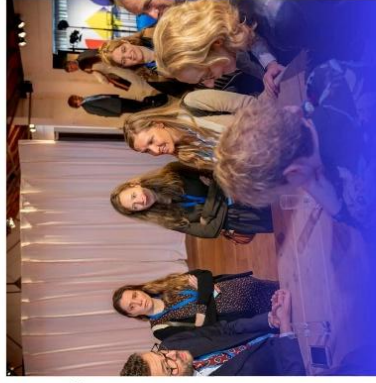
una
europa



21

The programme & partner universities

una
europa



- **Joint programme** on fundamental aspects and values of the EU as well as European states / societies.
- **International:** Stays at 2-3 partner universities
- **Multidisciplinary:** joint multidisciplinary curriculum followed by selection of major and minor out of seven fields of study
- **Degree-awarding partners:**
 - KU Leuven (Belgium)
 - Alma Mater Studiorum Universit  di Bologna (Italy)
 - Universidad Complutense de Madrid (Spain)
 - Uniwersytet Jagielloński w Krakowie (Poland)
- **Mobility partners:**
 - Freie Universit t Berlin (Germany)
 - Helsingin Yliopisto/Helsingfors universitet (Finland)
 - The University of Edinburgh (United Kingdom)
 - Universit  Paris 1 Panth on-Sorbonne (France)
 - Universit t Z rcher (Switzerland)

22

Approach to External QA

una
europa

- Accreditation via European Approach for Quality Assurance of Joint Programmes (2021) via Accreditation Organisation of the Netherlands and Flanders (NVAO)
- **Main Challenges working towards a joint programme**
 - Restrictive national legislation as to the **implementation of the European approach and mutual recognition**, resulting in additional procedures at national level.
 - Restrictive national legislation regarding the **possibility to create an interdisciplinary programme/degree**, or degrees in specific fields;
 - Restrictive national legislation regarding the necessary **components of the graduation diploma** and the joint diploma and graduation rules;
 - Restrictive national legislation regarding **curriculum aspects** (minimum or maximum ECTS credits per course; minimum ECTS credits for truncus communis; determining a maximum number of evaluations for a programme, etc.)
 - Restrictive legislation regarding **selection of students**
 - ...
- **Positive conclusion:** As a joint framework, the European Approach is a great tool for going through a joint external quality assessment together with partner universities of countries where the Approach is recognised.

23



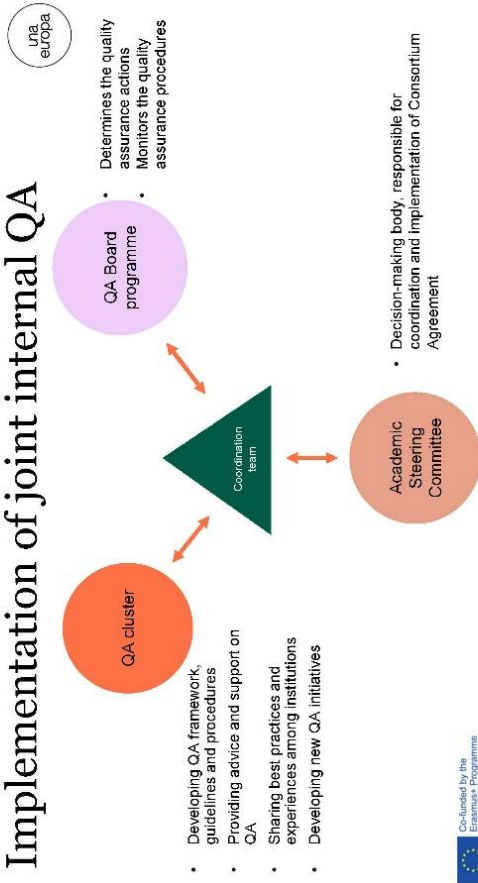
Approach to Internal QA

una
europa

- **"Una Europa's blueprint for internal quality assurance of joint programmes"** developed by Una Europa Quality Assurance cluster to support the realisation of programme accreditation of joint programmes according to the European Approach (Standard 9)
- **Trust between partners:** Based on the common understanding that each partner institution operates a well-functioning internal quality assurance system, the partners opted to make maximal use of the partners' existing methods.
- **Need for a joint framework** incorporating existing institutional protocols to a maximum extent to ensure effective decision-making and communication between the partners:
 1. **General principles** for the internal QA of joint programmes (principles of verified trust, subsidiarity and core practices)
 2. **Creation of a knowledge database:** transparent information and communication about the functioning of the internal quality assurance system of each partner
 3. **Definition of responsibilities** regarding quality assurance and enhancement on the level of the management of a joint programme (i.e. Quality Assurance Board)

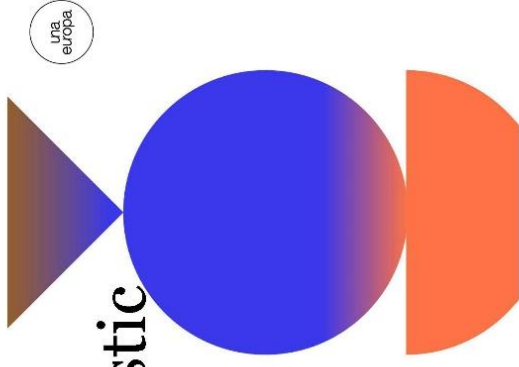
24

Implementation of joint internal QA



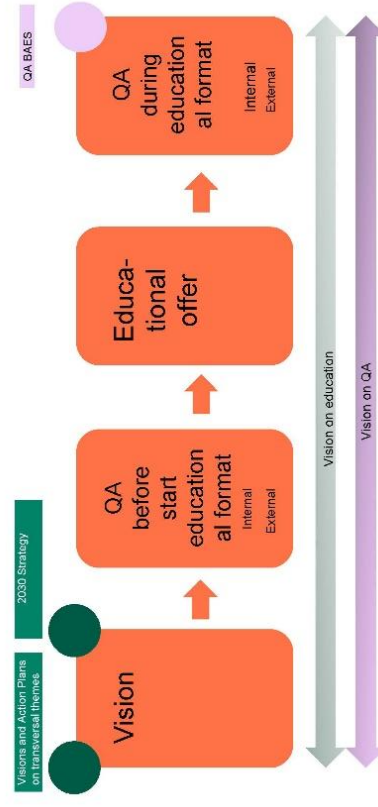
25

Expansion from flagship to a holistic QA system



26

Holistic approach



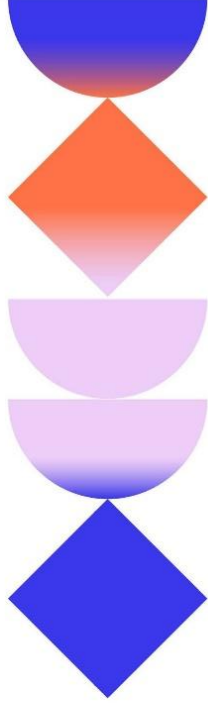
27

Impact of the joint internal QA system

- More **holistic incorporation of all elements of visions** into the different stages of the life cycle of an educational format
- Establishment of **workflows** to implement a **well-functioning reflective cycle**
- Guaranty for **value-driven high-quality education**, offered in a European campus with smooth cooperation and communication
- **Enhanced competitiveness** of Una Europa's educational offer
- Increased **satisfaction** of learners, teaching staff and professional staff

28

Lessons learned and policy recommendations



29

Key insights from developing a joint internal QA system



- Start with shared principles, then translate them into concrete practices.
- Delegate operational agreements to those closest to those responsible for their implementation.
- Enable open dialogue and continuous exchange.
- Be flexible—adapt and refine the system when needed.
- Always keep the primary goal in focus: delivering high-quality education for students



30

Translating Experience in Policy Impact



- University alliances help address:
 - Regulatory obstacles (in national law, regulatory frameworks of universities)
 - Operationalisation obstacles (e.g. lack of interoperability)
- Some projects:
 - ED-AFFICHE: project by 6 European University alliances, mapped existing obstacles, potential solutions and proposed legislations to tackle obstacles in joint programmes
 - EBSI (European Blockchain Services Infrastructure) Early Adopter Programme: solutions for registration, admission, student information systems, student accommodation application...



31

Closing insights



- Sustainable collaboration is built through open dialogue at all levels—policy, political, operational, and among educators and support staff.
- Lasting impact requires broad engagement and ownership across institutions and organizations.
- Successful implementation depends on embedding change throughout every layer of the partnership



32

Developing the "Common Quality Assurance Standards"

The International Symposium on
CAMPUS Asia Common Quality Assurance Standards Project
(Nov 4, 2025)

SEO Dongseok
Korean Council for University Education (KCUE)

LUO Xiong
University of Science and Technology Beijing

HOTTA Taiji
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of
Higher Education (NIAD-QE)

Table of Contents

- I. "CAMPUS Asia" and Quality Assurance Initiatives
- II. Developing the "Common Quality Assurance Standards"
- III. "Common Quality Assurance Standards"
- IV. Dissemination of the "Common Quality Assurance Standards"
- V. Before Discussion

I. "CAMPUS Asia" and QA initiatives

- 'CAMPUS Asia*' is a concept established by the Chinese, Japanese, and Korean governments to promote **quality-assured** student exchange.
* Collective Action for Mobility Program of University Students in Asia
- The CAMPUS Asia initiative began in April 2010 with the launch of the China-Japan-Korea Committee for Promoting Exchange and Cooperation among Universities, based on a proposal made at the Second China-Japan-Korea Trilateral Summit in October 2009.
- Each mode of the 'CAMPUS Asia' project runs for five years.
[Mode 1: FY2011 – 2015, Mode 2: FY2016 – 2020, Mode 3: FY2021 – 2025]
The Chinese, Japanese, and Korean governments jointly determine the adoption of participating programs.

I. "CAMPUS Asia" and QA initiatives(continued)

- University consortiums provide various student exchange programs, such as double degree and exchange programs at the graduate and undergraduate levels.
- An exchange of at least three months is recommended for undergraduate programs; in Mode 3, awarding of double or joint degrees for graduate programs is also recommended.
- In addition, Mode 3 encourages the utilization of a variety of media and extra-curricular activities outside of academic experiences, such as internships.

I. "CAMPUS Asia" and QA initiatives(continued)



EQEA, KCUE, and NIAD-QE conducted collaborative Monitoring activities during Mode 1 and 2 to identify and disseminate good practices in "CAMPUS Asia" programs.

I. "CAMPUS Asia" and QA initiatives (continued)

Mode 1 & 2 - Overview of Monitoring

Purpose

- Identify good practices for enhancing quality of education
- Develop quality assurance methods for international cooperative programs
- Contribute to improving the quality of international cooperative programs, such as double degree or exchange programs

Monitoring Activities

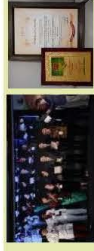
- 2013, 2015 : 1st & 2nd Monitoring on 10 pilot programs

Published [Joint Guidelines for Monitoring International Cooperative Academic Programs in CAMPUS Asia](#)

- 2018-2019 : "Monitoring + (Plus)" on newly adopted programs, based on the guidelines published [Joint Guidelines for Monitoring International Cooperative Academic Programs in CAMPUS Asia \(Second Edition\)](#)

The joint monitoring initiative was awarded "APQN Quality Award 2018"

- International Cooperation among QA Agencies"



I. "CAMPUS Asia" and QA initiatives (continued)

Mode 1 & 2 –Achievements of Monitoring Activities -Voices from the Consortiums-

System improvement from the monitoring results

- The monitoring results helped to improve the program and restructure the information system for students.
- It became an opportunity to improve the application guidelines and the content of student support.

Deeper cooperation with partner universities

- The process of monitoring induced better understanding between partner universities and strengthen the unity to build a future perspective together. In fact, it resulted a double degree agreement between Korean and Chinese universities.
- The initiatives introduced as good practices from the monitoring can be shared with the participating universities joining in the new mode, and a synergistic effect will be established in implementing collaborative education.

Oversee the progress and strengths of consortium initiatives

- Good practices picked up from the monitoring were useful to grasp how much progress has been made in the creation of credit transfer and grade evaluation systems compared to other consortiums.

I. "CAMPUS Asia" and QA initiatives" (continued) Towards Mode 3

Background

- Seventh meeting of the China-Japan-Korea Committee for Promoting Exchange and Cooperation among Universities September 2019, Tokyo
 - ⇒ Confirmed the importance of the "Common Standards" for qualified programs to further enhance quality-assured inter-university exchanges across Asia.

- EQEA, KCUE, and NIAD-QE Joint Monitoring Committee Nov 2019, Beijing

⇒ Reviewed the 7th JCK Committee Meeting's Agreement and exchanged views on the "Common Standard."

- Third Trilateral Education Ministers' Meeting January 2020, Tokyo

⇒ The scheme to expand 'CAMPUS Asia' were welcomed and accepted, with the ministers recognizing the importance of quality assurance.



I. "CAMPUS Asia" and QA initiatives (continued)

Mode 3 - Toward an Asian Higher Education Community

General Direction

- Promote quality-assured inter-university exchanges across Asia

Expansion

- 20 programs
- Universities in Indonesia, Lao PDR, Malaysia, Singapore, and Thailand have Joined with JCK

Actions

- Support continuous programs in which consortiums are formed in China, Japan, and Korea.
- Expand the scope of participation in the consortiums to include all Asian countries and regions, particularly ASEAN countries ('CAMPUS Asia Plus' programs).

I. "CAMPUS Asia" and QA initiatives" (continued)

Mode 3 – Possibility of "Common Quality Assurance Standards"

The demands

- Mutual understanding of quality standards
- Respect for differences between the various national systems
- Common purpose and sense of mission

⇒A framework "Common Quality Assurance Standards" will allow universities to engage in sustainable quality assurance

Expected role of the "COAS"

- Pursue common quality and values of international programs in China, Japan, Korea, and ASEAN countries
- Serve as common reference points for sustainable quality assurance efforts of university consortiums
- Support the further promotion of quality-assured exchanges among universities in the broader Asian region

II. Developing the "Common Quality Assurance Standards"

- Approach to Developing Standards

Roadmap



Development

Draft "Common Quality Assurance Standards"

Trial

Use the draft "Standards" Interview Survey

Dissemination

Disseminate project outcomes

Key stakeholders include:

- The China-Japan-Korea Committee for Promoting Exchange and Cooperation among Universities (inter-governmental committee)
- University consortiums - 20 consortiums in "CAMPUS Asia" Mode 3
- QA agencies - China, Japan, Korea, and ASEAN countries

II. Developing the "Common Quality Assurance Standards" (continued)

Development Phase

- Develop the preliminary draft of the "Common Quality Assurance Standards" through discussion among EQEA, KCUE, and NIAD-QE (Feb-Mar 2023)
- Online survey on the preliminary draft of the "Standards" to the "CAMPUS Asia" Mode 3 consortiums (Jul-Sept 2023)
- Compile feedback and elaborate the preliminary draft → "Draft" (June 2024)
- Interview surveys on 4 of the 20 CA consortiums (Nov-Dec 2024)

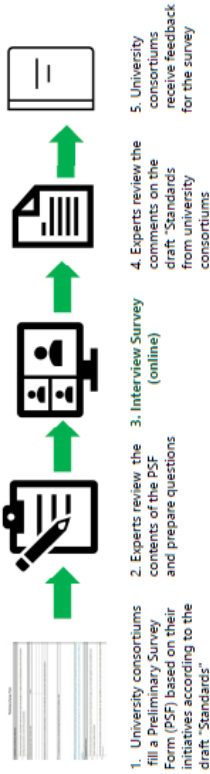


II. Developing the “Common Quality Assurance Standards” (continued)

■ Interview Survey (Nov-Dec 2024)

- Interview Surveys are not an evaluation or accreditation. Feedback obtained from experts was provided to the consortiums to further enhance the quality of their programs.
- The results of the interview survey were taken into consideration in the process of finalizing the “Standards (Draft)” .

■ Process



II. Developing the “Common Quality Assurance Standards” (continued)

■ Perspectives: Essential Elements

■ Consideration of Diversity

- Participating programs could have a variety of exchange formats, such as double / joint degree programs, semester level exchanges, and intensive short courses.

■ Promotion of Flexibility

- In times of uncertainty, the “Standards” should promote flexible educational methods and support systems to ensure the sustainable learning environment for students.

■ Support for Sustainable Quality Assurance

- The “Standards” should support university consortiums to further strengthen their internal quality assurance mechanisms and sustainable efforts in program improvement.

III. “Common Quality Assurance Standards”

– Enhancing Quality Collaboration for Inter-University Exchanges in Asia –

■ Structure of the “Standards”

Fundamental Principles

4 Principles

Important elements for conducting international inter-university exchanges:

- Promoting educational and academic exchanges
- Flexible responses to societal changes
- Transparency, student-centered principles
- Equality, equity, inclusiveness, diversity, openness to society

Standards

8 Standards

Standards that should be in place for international programs in the inter-governmental scheme:

1. Establishment and Sharing of Objectives
2. Implementation Structure
3. Curriculum
4. Student Acceptance
5. Student Support for Learning and Living
6. Learning Outcomes
7. Credit Transfer and Degree Awarding
8. Continuous Quality Improvement

III. “Common Quality Assurance Standards” (2)

– Enhancing Quality Collaboration for Inter-University Exchanges in Asia –

A. Fundamental Principles : The inter-governmental scheme by China, Korea, and Japan has been successfully promoting inter-university exchanges with quality assurance since 2011. In expanding this scheme throughout Asia, the Higher Education Institution (hereafter HEI) endorses the following fundamental principles and undertakes to implement them accordingly:

- The HEI undertakes to further enhance the international competitiveness of Asian universities and promote educational and academic exchanges that will serve as the foundation for mutual understanding and long-term harmonious relations within the region. Additionally, in line with the scheme, which aims to create a higher education community based on an international network of universities in Asian countries aspiring toward the peaceful development of Asia, the HEI, together with partner institutions, contributes to the realization of these objectives as a member of this framework.
- The HEI guarantees to provide programs under the scheme to enhance quality higher education in Asia by responding flexibly to societal changes, while complying with the relevant laws and regulations of each higher education system, and establishing appropriate structures and various types of support to ensure the continuity of students' learning.
- The HEI offers essential information regarding the available programs for students, who are considered as primary stakeholders, to make informed choices. It provides education in accordance with the students' interests and concerns, following student-centered principles and ensuring academic rigor.
- The HEI respects in full the principles of equality, equity, inclusiveness, diversity, and openness to the society.

III. "Common Quality Assurance Standards "(3)

– Enhancing Quality Collaboration for Inter-University Exchanges in Asia –

B. Standards: The HEI undertakes to ensure maintaining and continuing to implement these standards as a participating HEI in international collaborative academic programs in Asia.

1. Establishment and Sharing of Objectives

(1.1) The HEI, with partner institutions, clearly defines the objectives of the program, the personality to be cultivated, and the expected learning outcomes in terms of students' knowledge, skills, and attitudes, and shares them among stakeholders. The HEI also considers the expected social impact of its programs upon setting objectives.

2. Implementation Structure

(2.1) The HEI has made an agreement among partner institutions in which the basic policies of the program, such as the program management system, responsibilities toward students, and expense sharing, are documented.

(2.2) The HEI clearly states the operational structure of program implementation and relevant responsibilities, as well as the support system provided by related organizations within the institution.

(2.3) The HEI has established an educational management system in which faculty and staff members involved collaborate and implement the program effectively and sustainably.

(2.4) The HEI appropriately establishes a program-coordinating function and maintains mechanisms for regular communication and coordination among partner institutions.

III. "Common Quality Assurance Standards "(5)

– Enhancing Quality Collaboration for Inter-University Exchanges in Asia –

5. Student Support for Learning and Living

(5.1) The HEI agrees among partner institutions on the necessary learning and living support for students, based on the objectives and characteristics of the program. In addition, the HEI disseminates details of each area of support in an explicit manner to both prospective and current students.

(5.2) The HEI adequately provides the agreed learning support to students. Examples of learning support include an academic advising system, such as the placement of teaching assistants, course guidance, language learning support, and sufficient research and learning environments through libraries, information technology, and laboratory facilities.

(5.3) The HEI adequately provides the agreed living support for students. Examples of students' living support include financial support, accommodation support, medical support, orientations, counseling, interaction with local communities, and risk management.

(5.4) The HEI encourages interactions among students and alumni within and outside the program.

6. Learning Outcomes

(6.1) The HEI has appropriately established methods for measuring the learning outcomes as defined in 1.1 and shared the results of the measurements in a timely manner among partner institutions.

III. "Common Quality Assurance Standards "(4)

– Enhancing Quality Collaboration for Inter-University Exchanges in Asia –

3. Curriculum

(3.1) The HEI cooperates and collaborates with partner institutions to design a curriculum, including project advisory plans aligned with the program's objectives and expected learning outcomes.

(3.2) The HEI ensures to provide its curricula based on the cooperation among faculty members of partner institutions. The HEI is prepared to utilize various teaching methods effectively, encompassing online and hybrid, in addition to face-to-face education.

(3.3) The HEI provides detailed information on curricula and subjects such as course descriptions, language of instruction, lecture style, credits, student workload, expected learning outcomes, and grading methods. This information is included in the syllabus or other supplemental documents, while making the latest information available to students.

4. Student Acceptance

(4.1) The HEIs jointly establish and implement policies for letting students join the program according to its objectives, with envisaged learning outcomes that students will obtain taken into consideration. The HEIs also endeavor to assure a balanced student mobility among partner institutions.

(4.2) The HEI has clearly set up a process to let students join the program (including eligibility for application and recognition of qualifications) while paying attention to equity and transparency with the provision of accurate information for students' decision-making.

III. "Common Quality Assurance Standards "(6)

– Enhancing Quality Collaboration for Inter-University Exchanges in Asia –

7. Credit Transfer and Degree Awarding

(7.1) The HEI promotes mutual understanding of the credit system of each institution and has made agreements on credit transfer and recognition.

(7.2) The HEIs have a collective understanding of each grading method and standard.

(7.3) The HEI provides information, without any delay, to students and their home institutions on their academic records, such as credits and grades, in a transparent and explicit manner. The HEI properly manages the academic records of students based on mutual agreement among partner institutions.

(7.4) In the case of degree-seeking programs, the HEI has established an appropriate review system, processes, and standards according to the types of degrees awarded. Particularly for joint degree and double degree programs, the HEIs have jointly arranged and properly managed the standards and assessment system based on mutual agreement according to the objectives of the program.

III. “Common Quality Assurance Standards” (7)

– Enhancing Quality Collaboration for Inter-University Exchanges in Asia –

8. Continuous Quality Improvement

- (8.1) The HEI has developed an effective and continuous internal quality assurance system including the appointment of responsible bodies for implementation to promote the quality improvement of the program.
- (8.2) The HEI has established a mechanism that contributes to the improvement of educational management based on the information on students' learning outcomes obtained by the method described in 6.1.
- (8.3) The HEI has developed procedures for internal quality assurance to identify issues through regular meetings among partner institutions and feedback from students and other stakeholders, and consider measures for the improvement of program management.
- (8.4) The internal quality assurance system and procedures for the program jointly developed by the HEIs are functioning effectively.
- (8.5) The HEIs jointly plan to consider various measures, including financial schemes and the availability of adequate human resources, to ensure sustainable operation of the program.

IV. Dissemination of the “Common Quality Assurance Standards”

- The “Standards” were finalized in April, 2025.
- The results of the project were disseminated through an international conference/symposium.
- The final reports of the project will be published in spring 2026.



Online Meeting: EOEI, KCUE, and NIAD-QE



Meeting at KCUE in Seoul

IV. Dissemination of the “Common Quality Assurance Standards” (continued)

CAMPUS Asia Common Quality Assurance Standards Project Website



<https://qacampusasia.niad.ac.jp/en/>

<https://campusasiaprogram.kr/index.do?lang=eng>

V. Before Discussion(1)[今後の活用方法の検討]

1. Power of “Standards”

Boundary of control by “standards”

- From minimum requirements to legal restrictions
- Standard for individuals, consortium programs, and/or entire campuses (institutions),

Territory of “Standards”

- (Students' Life) Accommodation, financial assistance, mentor support, cultural exchanges, compliance, guidance, etc.
- (Students' Learning) Curriculum, teaching methods, quality, credit & grade transfer, etc.
- (Campus Facilities) Physical buildings, educational aids, and virtual technologies
- (Teamwork and Management) Organization, responsible members, meeting and IQA, etc.
- (Outcomes) graduation and employment rates, etc.

Usage of “Standards”

- For the screening process
- Formative evaluation
- Summative evaluation

V. Before Discussion(2) [共通基準の効果]

Positive Outcomes from QA Monitoring Activities (Mode 1 & 2) – Voices from the Consortia- [Recited from Slide #7]

- System improvement from the monitoring results
 - The monitoring results helped to improve the program and restructure the information system for students.
 - It became an opportunity to improve the application guidelines and the content of student support.
- Deeper cooperation with partner universities
 - The process of monitoring induced better understanding between partner universities and strengthen the unity to build a future perspective together. In fact, it resulted a double degree agreement between Korean and Chinese universities.
 - The initiatives introduced as good practices from the monitoring can be shared with the participating universities joining in the new mode, and a synergistic effect will be established in implementing collaborative education.
- Oversee the progress and strengths of consortium initiatives
 - Good practices picked up from the monitoring were useful to grasp how much progress has been made in the creation of credit transfer and grade evaluation systems compared to other consortiums.

V. Before Discussion(3) [コンソーシアム型交流の課題]

Issues on Consortium Based Student Mobility Programs

- Sustainability in teamwork among participating universities
 - Changes of leadership
- Differences in governmental policies and regulations
 - "Joint-Degree" programs
 - Recognition of "Flexible" (non-traditional) education
- Alignment of curriculum and teaching style
 - Credit transfer for content equivalent studies (course equivalency)
 - Teacher-centered vs. student-centered education
- (Joint) Internal Quality Assurance of a Consortium Program
 - Differences in IQA standards and methods among participating universities
 - Academic calendar and the process of paperwork

V. Before Discussion(4):

Let's discuss, but want to hear voices from audience

1. How will these standards be used to benefit participating universities in the future?
 - For the screening process?
 - For ongoing (formative) evaluation?
 - For outcome-based (summative) evaluation?
2. What are the most effective strategies for sharing the "Standards" across the consortium member universities?

THANK YOU VERY MUCH.



VII. 2025 APQN Quality Award の受賞 (2025 年 11 月)

2025 年 11 月、当機構は、EQEA 及び KCUE とともに、2025 APQN Quality Award を受賞しました。この賞は、アジア太平洋質保証ネットワーク (APQN: Asia-Pacific Quality Network) ※が、質保証に対する卓越した貢献やアジア・太平洋地域において参考となる優れた取組を行った機関や個人に対し、その功績を称えて授与する賞です。

当機構が EQEA 及び KCUE と共同で「共通質保証基準」を策定した「キャンパス・アジア共通質保証基準」プロジェクトの取組が評価され、国境を越えた教育や質保証の国際的な取組において、他機関との国際協力に尽力していると認められる機関に贈られる「International Cooperation in QA (質保証における国際協力賞)」の部門で受賞しました。

2025 年 11 月 21 日 (金) に香港で開催された APQN の年次会合にあわせて執り行われた授賞式には、当機構の服部機構長、EQEA 及び KCUE の関係者が出席し、APQN の理事により、記念のトロフィーを授与されました。



授賞式の様子

授与されたトロフィー

※APQN について：

APQN は、アジア・太平洋地域における高等教育の質の保持と改善を目的として 2003 年に設立された質保証機関のネットワーク。当機構は 2005 年 11 月より正会員として加盟しています。

参考資料：

日本、中国、韓国の協力有識者一覧

2024年11月～12月に実施した「共通質保証基準（案）に基づく聞き取り調査」等にご協力賜りました有識者の皆さまの一覧です。

（ご所属・ご役職は、2024年12月現在のものです。）

日本

小尾 晋之介	慶應義塾大学 教授
粕谷 英樹	名古屋大学 教授
熊谷 嘉隆	国際教養大学 理事／副学長
黒田 一雄	早稲田大学 教授
杉村 美紀	上智大学 教授
堀切 友紀子	東京農工大学 准教授
森 利枝	大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授
堀田 泰司	大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 客員教授

中国

GENG Yiqun	中国伝媒大学 教授
HUANG Yu	北京師範大学 教授
LIU Jianbo	北京大学 教授
LIU Renshan	中南財經政法大学 教授
LUAN Tiangang	五邑大学 教授
LUO Xiong	北京科技大学 教授
LUO Yan	清華大学 教授
XIE Meng	中国人民大学 教授
XU Luping	清華大学 教授
ZHU Feng	清華大学 教授

韓国

Junhyun Hong	中央大学校 教授
Kiyong Byun	高麗大学校 教授
Suyoun Byoun	釜山外国語大学校 教授